

社会・解答

1

地理 (世界地理)

p.2~p.15

問1 世界地理の基礎問題(p.2~p.3)

解答

- (ア) 2 (イ) 2 (ウ) 3
 (エ) 2 [月]12[日]午後6[時]
 (オ)都市 a 4 都市 b 1
 都市 c 2 都市 d 3
 (カ) 2

解説

- (ア) 略地図Ⅰは、中心からの距離と方位が正しくあらわされた正距方位図法で描かれた地図である。グリーンランドは、地図の中心である東京から見てほぼ北に位置している。
- (イ) 緯度0度の緯線である赤道は、ギニア湾、インドネシア、エクアドル、ブラジルのアマゾン川河口付近を通る。経度0度の経線である本初子午線は、イギリスの首都ロンドンを通る。略地図Ⅱの緯線は赤道から30度ごと、経線は本初子午線から30度ごとに引かれていることから、Aで示した地点は、南緯30度、東経60度であるとわかる。
- (ウ) 世界の六大大陸は、面積の広い順にユーラシア大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸、オーストラリア大陸である。世界最大の面積をもつ国はロシア連邦で、中華人民共和国(中国)は、世界で最も人口の多い国である。
- (エ) 略地図ⅠのLは西経75度の経線を示している。経度15度につき1時間の時差が生じることから、東経135度の経線を標準時の基準(標準時子午線)とする東京とニューヨークの時差は、 $(135+75) \div 15 = 14$ 時間である。日付変更線のすぐ西に位置する地域ほど時刻が進んでいるので、日本の方がニューヨークより14時間進んでいることになる。よって、日本時間が2月13日午前8時のときのニューヨークの日時は、14時間前の2月12日午後6時となる。
- (オ) 1は一年を通して気温が高いことから、熱帯に属する都市b、2は12月や1月の気温が高く、6月から8月の気温が低いことから、北半球とは季節が逆になる南半球に位置する都市cと判断できる。都市cは温帯(温暖(温帯)湿潤気候)に属する。3は一年を通して気温が非常に低いことから、寒帯に属する都市d、4は一年を通して降水量が少しあり、冬は温和なことから、温帯(西岸海洋性気候)に属する都市aとなる。
- (カ) 略地図ⅡのYはサウジアラビアを示している。サウジアラビアをはじめとする西アジアの国々のほとんどは、イスラム教を信仰する人が多くなっている。イスラム教徒は、1日に5回、聖地メッカに向かって祈りをささげるほか、豚を食べない、女性は肌を見せるような服を着てはならないなど、さまざまな慣習がある。

問2 世界地理の基本問題(p.4~p.6)

解答

- (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 2 (エ) 4
 (オ)都市 a 4 都市 c 2 (カ) 13[時間]
 (キ) 4
 (ク)状態 4 読み取れること 6

解説

- (ア) 南アメリカ大陸の太平洋側を南北に連なる山脈はアンデス山脈で、環太平洋造山帯に属する。じゃがいもはアンデス山脈が原産で、現在でもこの地域に住む人々の主食である。
- 補足**
 アンデス山脈山中の標高4000m付近は気温が低く、農業に向いていないため、リャマやアルパカの飼育が行われている。また、住居よりも標高が低い地域ではじゃがいも、それよりもさらに標高が低く温暖な地域ではとうもろこしの栽培が行われている。
- (イ) ヨーロッパ州にはキリスト教を信仰する人が多いが、地域により主に信仰される宗派が異なっている。フランスやスペイン、ポルトガルなどの西部ではカトリックが、ドイツの北部や東部、イギリス、スカンディナヴィア半島に位置するスウェーデンやノルウェーなどではプロテスタントが、ギリシャやロシア連邦などの東部では正教会が主に信仰されている。
- (ウ) ニュージーランドとオーストラリアはいずれもオセアニア州に属している。ニュージーランドにはマオリ、オーストラリアにはアボリジニと呼ばれる先住民が暮らしている。
- ニュージーランドやオーストラリアでは牧畜がさかんで、特にニュージーランドでは、「人間よりも羊の数が多く」といわれるほど、多くの羊が飼育されている。羊の肉はニュージーランドの主要な輸出品である。
- (エ) インドが含まれる南アジア、東南アジア、日本が含まれる東アジアの国々は、季節風(モンスーン)の影響を受けやすい地域である。インドでは英語が準公用語であること、数学の教育水準が高いことに加え、国や州が技術者を育てるために援助をしていることなどから、特に情報通信技術(ICT)産業の成長がめざましく、南部のベンガルールには欧米の情報通信技術関連の企業も多数進出している。
- (オ) 都市aは冷帯(亜寒帯)、都市cは乾燥帯に属する。冬の平均気温が氷点下でありながら夏の気温が高く、一年を通して気温差の大きい4が都市aの雨温図、一年を通して降水量が非常に少ない2が都市cの雨温図にあてはまる。1は一年を通して気温が高いことから、熱帯に属する都市d、3は降水量や気温の一年の変化が大きく、四季がはっきりしていることから、温帯(温暖(温帯)湿潤気候)に属する都市bがあてはまる。
- (カ) パリの標準時の基準となる経度は東経15度なので、東京との時差は、 $(135-15) \div 15 = 8$ 時間である。東京の方がパリより8時間進んでいることから、東京国際空港を出発した日本時間の2月14日午前10時は、パリの現地時間で2月14日午前2時となる。同じ日の午後3時(=15時)に航空機がパリのシャルル・ド・ゴール空港に到着しているため、飛行時間は13時間となる。
- (キ) 中心からの距離と方位を正しくあらわしているのは、正距方位図法で描かれた略地図Ⅱであるため、この地図で東京とパリの位置関係を確認する。また、略地図Ⅱに

描かれた同心円から、東京からアメリカ合衆国の五大湖周辺の直線距離がおよそ10,000kmであることがわかる。よって、東京から略地図Ⅰ中の都市eまでの直線距離が東京からパリまでの直線距離とほぼ等しくなる。

- (ク) モノカルチャー経済とは、国の経済が特定の(少ない種類の)鉱産資源や農産物の生産・輸出に依存していることをいう。表中の3か国の主な輸出品目を見てみると、ガーナは金と原油、ザンビアは銅の割合が高い一方で、南アフリカ共和国は自動車や機械類などの工業製品が上位にあり、割合にかたよりが少ないことがわかる。表中の3か国を、ガーナ・ザンビアと南アフリカ共和国に分けて見てみると、輸出額・輸入額も、一人あたり国民総所得もガーナ・ザンビアの方が南アフリカ共和国より低いことが読み取れ、南アフリカ共和国に比べて、ガーナ・ザンビアは工業化が遅れているといえる。南アフリカ共和国は、アフリカ州有数の工業化が進んだ国である。

モノカルチャー経済の国は、鉱産資源や農産物の取引価格が景気や国際情勢の影響を受けやすいこと、鉱産資源の産出量や農産物の収穫量は毎年変動することなどから、収入を安定させたり、増やしたりすることが難しい。

X 一人あたり国民総所得が最も高い国は南アフリカ共和国であり、輸出額が輸入額を上回っている。

Y 各国の輸出額上位3品目の輸出額の合計は、輸出額×上位3品目の割合(%)の合計÷100で求められる。ガーナは約13,297百万ドル、ザンビアは約5,398百万ドル、南アフリカ共和国は約26,998百万ドルとなる。

補足

アフリカ州は、南アフリカ共和国のように工業化に成功した国と、ガーナやザンビアのように依然としてモノカルチャー経済を営んでいる国に二分されており、経済格差が生じている。これを、南南問題という。

問3 世界地理の基本問題(p.7～p.9)

解答

- (ア) 3 (イ) 6 (ウ) 東経45[度]
(エ) 2 (オ) 1 (カ) 4 (キ) 3
(ク) 2

解説

- (ア) 北海道の北部を通る北緯45度の緯線は、フランス南部、イタリア北部、モンゴル、中華人民共和国(中国)北部、アメリカ合衆国北部(五大湖周辺)を通る。略地図Ⅱのアは北緯60度の緯線、略地図Ⅲのエは北緯30度の緯線を示している。

補足

アメリカ合衆国では、北緯37度より南のサンベルトで、情報通信技術(ICT)産業をはじめとした工業が発達している。

- (イ) 中華人民共和国(中国)では、長江流域など、降水量の多い南部では稲作が、黄河流域や東北部など、降水量の少ない地域では小麦やとうもろこしなどの畑作が、農業の中心となっている。

経済特区とは、外国の資本や技術の導入を目的として、外国企業が進出しやすいように外国企業に対して地代や税を安くしている地域のことで、中華人民共和国(中国)南部の沿海部に位置するシェンチェン、アモイ、チューハイ、スワトウとハイナン省が指定されている。中華人民共和国(中国)では、沿海部で工業が発達している。

1970年代まで、中華人民共和国(中国)は政府の計画に

沿って農業や工業の生産を行っていた。その後は、沿海部に経済特区を設けるなど、外国の企業を積極的に受け入れる方針にした。中華人民共和国(中国)の豊富な労働力と、人件費や工場の建設費などの安さを背景に、現在では「世界の工場」としての地位を築いている。

- (ウ) 成田国際空港からモスクワまでの飛行時間が10時間で、モスクワの現地時間の2月15日午後5時にモスクワの国際空港に航空機が到着していることから、モスクワの現地時間の2月15日午前7時に、航空機は成田国際空港を出発したことになる。成田国際空港を出発したときの日本時間が2月15日午後1時であることから、日本とモスクワの時差は、 $13 - 7 = 6$ 時間である。これより、日本とモスクワの標準時の基準となる経度の差は、 $15 \times 6 = 90$ 度となる。日本の標準時の基準となる経度は東経135度で、日本の方がモスクワより時刻が進んでいるので、モスクワの標準時の基準となる経度は、 $135 - 90 = 45$ という計算より、東経45度と求められる。

- (エ) EUはヨーロッパ連合の略称で、ヨーロッパの政治的・経済的結びつきを強めるために1993年に発足した。加盟国間ではパスポートの検査や関税がないため、人やモノの行き来が自由であることが特徴である。また、西ヨーロッパ諸国と、後から加盟した東ヨーロッパ諸国との間に経済格差があることが問題となっている一方で、労働者の賃金や物価の安い東ヨーロッパ諸国の加盟国で製品を生産するため、西ヨーロッパ諸国から東ヨーロッパ諸国へ工場を移転する動きも見られる。

OPECは石油輸出国機構の略称で、産油国の利益を守るために結成された組織である。

補足

西ヨーロッパから東ヨーロッパへ工場を移転する動きがある一方、賃金の高いドイツなどの西ヨーロッパ諸国へ東ヨーロッパ諸国の労働者が出稼ぎにくるという現象も見られる。

- (オ) 略地図ⅡのBはフランスを示している。小麦やライ麦などの穀物や飼料用作物の栽培と家畜の飼育を組み合わせた混合農業がさかんである。小麦の世界有数の輸出国で、穀類の自給率が非常に高くなっている。

2は国内総生産と貿易額が多いことから、EU有数の工業国であるドイツがあてはまる。3と4のうち、国内総生産と貿易額が多い3にイタリア、残る4にスペインがあてはまる。

- (カ) アメリカ合衆国にはもともと先住民が住んでいたが、15世紀末以降、ヨーロッパからやってきた移民が、アフリカから奴隷として連れてきた人々を使って開拓を進めた。現在では、特に南部のメキシコに近い州において、スペイン語を話す中南米からの移民であるヒスパニックが増加している。

- (キ) 略地図Ⅲの都市Cは、一年を通して温暖で、冬の降水量が比較的多く夏の降水量が少ない、温帯の地中海性気候に属する。この地域では地中海式農業が行われ、夏の乾燥した気候をいかしたぶどうやオレンジなどの生産がさかんである。Yはフロリダ半島南端の、一年を通して気温が高い熱帯の雨温帯である。

- (ク) a 表Ⅱの日本とアメリカ合衆国の耕地・樹園地面積と牧場・牧草地面積を比較することで読み取ることができる。

b 農林水産業就業人口一人あたり農地面積は、表Ⅱの農地面積÷農林水産業就業人口で求められる。日本は約1.94ha、アメリカ合衆国は約185.2haとなる。

c 表Ⅲより、日本の肉類の生産量は1,000万t未満で

ある。

d アメリカ合衆国の穀物の、生産量に占める輸出量の割合は、表Ⅲの穀物の輸出量÷生産量×100で求められ、約23.5%となる。

e それぞれの生産量に占める輸出量の割合は、表Ⅲより、日本の穀物は約3.1%、野菜は約0.2%、肉類は約0.5%、アメリカ合衆国の穀物は約23.5%、野菜は約14.4%、肉類は約16.9%となる。

アメリカ合衆国は「世界の食料庫」と呼ばれるほど、農産物の生産及び輸出がさかんな国である。

問4 世界地理の応用問題(p.10~p.12)

解答

- (ア) 3 (イ) 2 (ウ) 4
(エ) 5 (オ) 3
(カ) 4 え 1 お 5
(キ) 3

解説

(ア) 略地図ⅠのXは、北緯30度、東経140度の地点を示している。ある地点に対して、地球の中心を通った反対側の地点を対蹠点という。対蹠点の緯度は北緯と南緯が逆になって同じ数値に、経度は東経と西経が逆になって180から引いた数値になる。よって、Xの地点の対蹠点は南緯30度、西経40度を示す、略地図Ⅰの3の地点となる。

(イ) アマゾン川は南アメリカ大陸の北部を流れており、世界最大の流域面積をほこる。北アメリカ大陸、南アメリカ大陸と、ヨーロッパ州、アフリカ大陸にはさまれているのは大西洋である。ラプラタ川は南アメリカ大陸の中南部に河口があり、大西洋に注いでいる。

(ウ) 中心からの距離と方位を正しくあらわしているのは、正距方位図法で描かれた略地図Ⅱであるため、この地図でアムステルダムとシャンハイ(上海)の位置関係を確認する。また、アムステルダムからニューヨークまでの最短コースは、略地図Ⅱ中のアムステルダムとニューヨークを結んだ直線となる。この線上に位置するのはイギリスである。

(エ) 問題文から、この会議は、アムステルダムの現地時間で午後1時に始まり、午後2時に終わったことがわかる。また、アムステルダムを中心にして3都市の位置を確認すると、デリー、シャンハイ(上海)はアムステルダムから見て東に、ニューヨークは西に位置している。この4都市を時刻が早い順に並べると、シャンハイ(上海)→デリー→アムステルダム→ニューヨークである。アムステルダムより時刻が遅いのはニューヨークのみであるので、午前8時に会議が終了したと発言している生徒aがニューヨークに住んでいると判断できる。次にアムステルダムを基準にデリーとシャンハイ(上海)を比べたとき、より東に位置しているのはシャンハイ(上海)である。よって、生徒b、生徒cのうち、午後9時に会議が終了したと発言している生徒bがシャンハイ(上海)に、生徒cがデリーに住んでいると判断できる。

(オ) 都市Lは、熱帯に属するフィジーの都市を示している。一年を通して気温が高く、風通しをよくするために、壁には木や竹を使い、屋根をやしの葉でおおった住居が伝統的につくられている。窓を広くとった高床の住居も見られる。また、フィジーでは「ロボ料理」と呼ばれる、地面に穴を掘ってつくったかまどにいろいろな食材を入れて蒸し焼きにする料理が昔から食べられている。dの石の壁が厚く窓の小さい住居や、gのパエリヤは、地中

海に面するスペインの伝統的な住居や料理である。

(カ) 1980年、2000年、2019年の上位5品目に常に入っているのは、機械類と鉄鉱石である。このうち、さかんに産出されるという文につながるのは鉄鉱石である。

コーヒー豆は長年ブラジルが生産量世界一をほこり、輸出量も多いが、輸出総額に占める割合は下がっている。

輸出総額に占める割合で比較すると、1980年より2000年の方が高く、2019年に再び低下しており、部品が多く組み立てが複雑なものは自動車と航空機である。

(キ) EUはヨーロッパ連合、ASEANは東南アジア諸国連合の略称である。東南アジアのタイ、マレーシア、フィリピンはASEAN、ヨーロッパ州のドイツ、フランス、ベルギーはEUに加盟している。

EUでは、加盟国間の貿易に関税がかからないため、域内での輸出入がさかんに行われている。このことから、域内での輸出・輸入の割合が高いYにEUがあてはまり、XがASEANとなる。EUでは、多くの加盟国で共通通貨のユーロが導入され、政治的な統合とともに経済的な統合を強めている。

a ASEAN加盟国の「主な宗教」は、タイが仏教、マレーシアがイスラム教、フィリピンがキリスト教で、全て異なる。人口密度は、人口÷面積で求められ、タイは約136人/km²、マレーシアは約98人/km²、フィリピンは約365人/km²、ドイツは約234人/km²、フランスは約118人/km²、ベルギーは約374人/km²となる。

b キリスト教を信仰する人が最も多い国は、フィリピン、ドイツ、フランス、ベルギーで、フィリピンはASEAN加盟国である。

c 各国の「主な宗教」を信仰する人口は、人口×主な宗教の人口に占める割合(%)÷100で求められる。タイは5,793.4万人、マレーシアは1,942.2万人、フィリピンは10,190.94万人、ドイツは5,194.36万人、フランスは4,373.09万人、ベルギーは660.63万人となる。

問5 世界地理の応用問題(p.13~p.15)

解答

- (ア) 2 (イ) 6 (ウ) 2
(エ) 19[時間]30[分] (オ) 6 (カ) 3
(キ) 4

解説

(ア) 中心からの距離と方位を正しくあらわしているのは、正距方位図法で描かれた略地図Ⅰであるため、この地図で東京とブエノスアイレスの位置関係を確認する。また、正距方位図法で描かれた地図は、地図の中心から見て、地球の中心を通った反対側の地点(対蹠点)が外周にあたるため、外周と地図の中心を結ぶ直線距離は、地球の半周分に相当する約20,000kmになる。このことから、東京からブエノスアイレスまでの距離は20,000kmよりも少し短いとわかる。

(イ) 略地図Ⅰの東京から、略地図Ⅰに引かれた点線に沿って南に進んでいくと、ニューギニア島→オーストラリア大陸→南極大陸→南アメリカ大陸→グリーンランド→ユーラシア大陸の順に通過して東京に戻る。またこのとき、太平洋、大西洋は通過するが、インド洋は通過しない。

(ウ) アフリカ大陸の北部には世界最大のサハラ砂漠が広がっている。アフリカ大陸は鉱産資源が豊富で、その中でも近年、埋蔵量が少なく、とり出すことが難しいレアメタル(希少金属)に注目が集まっている。レアメタルの一種であるコバルトはアフリカ南部を中心に採掘されて

おり、携帯電話などの電子機器に用いられている。

補足

サハラ砂漠南部のサヘルでは、砂漠化が進行し問題となっている。雨がほとんど降らない異常気象や、人口増加に伴う過度の耕作や放牧、木の伐採などが原因である。

(エ) 到着地であるアクラの標準時の基準となる経度は経度0度(本初子午線)であることから、日本とアクラの時差は $135 \div 15 = 9$ 時間である。日本時間の2月15日午前8時に航空機が成田国際空港を出発したとき、アクラの現地時間は、日本時間の9時間前の2月14日午後11時である。アクラに到着したのは2月15日午後9時であることから、成田国際空港を出発してからアクラに到着するまでにかかった時間は22時間である。ドバイでの乗り継ぎに2時間30分かかっていることから、航空機に乗っていた時間は22時間 - 2時間30分 = 19時間30分である。

(オ) 略地図Ⅱの都市Aは、インドの首都デリーを示している。5月から8月にかけて平均気温が30度を超え、季節風(モンスーン)の影響を受けて、6月から9月にかけて雨が多く降る。インドの女性が伝統的に身に着けているサリーは木綿などの一枚布でできており、このような気候でも涼しく過ごせるようになっている。チマ・チョゴリは大韓民国(韓国)や朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の女性が伝統的に身に着けている民族衣装、ボンチョは着脱がしやすく、アンデス山脈に暮らす人々が防寒のために伝統的に身に着けている民族衣装である。

(カ) 略地図Ⅲのbはカンザス州を示している。この地域では小麦がさかんに生産されていることから、表中の3があてはまる。アメリカ合衆国の適地適作について確認しておこう。

略地図Ⅲのaで示したアラスカ州は、先住民族が人口に占める割合が高いことなどから、表中の2があてはまる。略地図Ⅲのcで示したテキサス州はメキシコと国境を接しており、中南米からの移民で、スペイン語を話すヒスパニックが人口に占める割合が高いことから、表中の1があてはまる。テキサス州は世界有数の原油の産出地であるメキシコ湾に面しており、原油の産出量が多くなっている。略地図Ⅲのdで示したニューヨーク州は、アジア系の割合が高いことや、1776年に独立宣言を発表した東部13州のうちのひとつで州の成立が早いことから、表中の4があてはまる。

(キ) オーストラリアは、かつてはイギリスの植民地で、独立した現在はイギリス連邦に加盟しており、古くからイギリスとの結びつきが深かった。このことから、かつてはイギリスが最大の貿易相手国であったが、近年は、地理的に近いアジア州との結びつきが強まり、アジア州の国々との貿易が大きく増加している。アジア州との結びつきが強まったのには、1970年代に、ヨーロッパ以外からの移民を制限する白豪主義と呼ばれる政策が廃止されたことも影響している。これらのことから、グラフⅠの2つの円グラフのうち、1位がイギリス、2位がフランスの左の円グラフが1955年、1位が中華人民共和国(中国)、2位が日本の右の円グラフが2019年のものとわかる。2019年の輸出相手国上位5か国のうち、中国、日本、韓国の3か国がアジア州の国であり、この3か国で輸出額の半分以上を占めている。

オーストラリアでは、穀物をはじめとする農産物の生産、羊や牛の牧畜がさかに行われている。鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の産出量も多くなっている。輸出品では、イギリスが最大の貿易相手国であったころは(ヨーロッパ諸国へ向けた)羊毛類や穀類、酪農製品などが中

心であったが、中国をはじめとするアジア州の国々との貿易が増加した現在では、鉄鉱石や石炭、液化天然ガスなどの鉱産資源が中心になっている。鉱産資源が輸出額に占める割合が高くなった背景には、アジア州の国々で工業化が進み、大量の鉱産資源が工業の原材料や燃料として必要になり、オーストラリア産の鉱産資源の需要が高くなったことがある。これらのことから、グラフⅡの2つの帯グラフのうち、1位が羊毛類である上の帯グラフが1955年、1位が鉄鉱石、2位が石炭の下の帯グラフが2019年のものとわかる。

2

地理 (日本地理)

p.16~p.29

問1 近畿地方をテーマにした基礎問題(p.16~p.17)

解答

- (ア)都市A 2 都市B 1 都市C 3
 (イ) 4 (ウ) 2 (エ) 3
 (オ)(i) 3 (ii) 4

解説

- (ア) 略地図から、都市Aは日本海、都市Bは瀬戸内海、都市Cは太平洋に面していることがわかる。よって、都市Aにあてはまるのは冬(12月や1月)に降水量(降雪量)が多い2、都市Bにあてはまるのは一年を通して降水量が少なく温暖な1、都市Cにあてはまるのは特に夏の降水量が多い3の雨温図となる。
- (イ) 長い間日本の都だった京都には、4の西陣織を含め、伝統的工芸品に指定されている品目が多くなっている。1の南部鉄器は岩手県、2の加賀友禅は石川県、3の土佐和紙は高知県の伝統的工芸品である。
- (ウ) 琵琶湖は滋賀県に位置する、日本で最も大きい湖である。琵琶湖から流れ出す自然河川は1本だけで、その川は滋賀県域では瀬田川、京都府域では宇治川、大阪府域では淀川と名前を変える。
- 宍道湖は島根県に位置し、しじみ漁で有名である。熊野川は奈良県、和歌山県、三重県を流れる川である。
- (エ) 阪神工業地帯は、金属工業、機械工業、化学工業の占める割合が大きく変わらないことが特徴である。2は製造品出荷額が最も少ないことから北九州工業地域(地帯)、4は機械工業の占める割合が非常に高く、製造品出荷額が最も多いことから中京工業地帯となり、残る1には京浜工業地帯があてはまる。
- (オ)(i)う 図書館の地図記号は $\square$ 、博物館の地図記号は $\square$ である。
- え この地形図は、縮尺が2万5千分の1であるので、地形図上で4cmの長さの直線の実際の距離は、 $25000 \times 4\text{cm} = 100000\text{cm} = 1000\text{m} = 1\text{km}$ と求めることができる。
- お 等高線の間隔が狭いほど土地の傾きは急であり、等高線の間隔が広いほど土地の傾きはゆるやかになる。
- (ii) 和歌山県はみかんのほか、うめやかきの生産量も全都道府県の中で最も多くなっている。1のももと2のぶどうは山梨県、3のりんごは青森県が生産量が最も多くなっている。

問2 北海道と石川県をテーマにした基本問題(p.18~p.20)

解答

- (ア) 5 (イ) アイス
 (ウ)え 4 お 2 か 5 (エ) 2
 (オ) 1 (カ)(i) 3 (ii) 2, 5
 (キ) 冬に雪が多く降り、農作業ができない
 (ク) 3

解説

- (ア) 日本の北端である択捉島(北海道)と、国後島、色丹島、歯舞群島をまとめて北方領土と呼ぶ。現在は、ロシア連邦に占拠されている。沖ノ鳥島(東京都)は日本の南端で

ある。

補足

日本の東端は南鳥島(東京都)、日本の西端は与那国島(沖縄県)である。また、領土をめぐることは、大韓民国(韓国)が占拠している竹島や、中華人民共和国(中国)が領有権を主張している尖閣諸島の問題がある。

- (イ) 北海道の地名には、先住民族であるアイヌの人々の言葉をもとにしたものが多くなっている。
- (ウ) 北海道では、石狩平野や上川盆地などで稲作、十勝平野などで畑作、根釧台地で酪農がさかんに行われている。
- 表Iから、北海道では、20.0ha以上の経営耕地をもつ販売農家が47.1%と最も高い割合を占めており、5.0ha以上の経営耕地をもつ販売農家が76.9%(=11.7+18.1+47.1)を占めていることがわかる。一方、都府県では、5.0ha未満の経営耕地をもつ販売農家が92.5%(=54.0+38.5)を占めており、5.0ha以上の経営耕地をもつ販売農家は7.5(=4.3+1.9+1.3)%しかいないことがわかる。これより、北海道の販売農家の経営耕地規模は、都府県と比べると平均して大きいといえる。
- (エ) 1970年代後半に、生産量を大幅に減らしている2が遠洋漁業である。この時期に、各国が排他的経済水域を設けて他国の漁業を規制するようになったことや、燃料費が高くなったことなどから、遠洋漁業の生産量は減少した。
- (オ) オホーツク海は北海道の北東に広がる。知床はオホーツク海に突き出した半島である。
- (カ)(i) イラストの奥側に山が見えることと、イラストの中央で2つの川が合流していることから、㊦の地点と方向からスケッチしたイラストであると判断できる。
- (ii) 1. 重蔵神社を過ぎると道の右側に見られるのは寺院(㊦)である。神社の地図記号は㊦である。3. 文化会館の南にある警察署(㊦)付近の水準点(㊦)に「9.0(m)」, ㊦の地点付近の水準点に「5.1(m)」と標高が示されている。これより、警察署は、㊦の地点と比べて約4m標高が高いところにあるとわかる。4. 塚田川流域の低地は、主に田(㊦)として利用されている。茶畑の地図記号は㊦である。
- (キ) 中部地方の日本海に面する4県を北陸地方と呼ぶ。稲作がさかんな地域であるが、冬は雪の影響を受けるために農作業ができない(水田単作)。そのため、北陸地方では農家の冬の副業として工芸品の生産が発達した。
- (ク) 1 2020年の宿泊に来た人数が、2019年の宿泊に来た人数の50%以下に減少しているのは、石川県、富山県の2県である。
- 2 宿泊に来た人数について、2019年で最も多いのは静岡県、最も少ないのは福井県、2020年で最も多いのは静岡県、最も少ないのは富山県である。観光・レクリエーションが目的の人数について、2019年で最も多いのは静岡県、最も少ないのは福井県である。よって、宿泊に来た人数が最も少ない県と、観光・レクリエーションが目的の人数が最も多い県は、2019年と2020年で異なっている。
- 3 2020年に宿泊に来た人数の9県の合計は3617万人である。新潟県に宿泊に来た人数は403万人であるので、9県の合計に占める新潟県の割合は、 $403\text{万人} \div 3617\text{万人} \times 100$ という計算より約11%と求められる。
- 4 宿泊に来た人数に占める観光・レクリエーションが目的の人数の割合は、観光・レクリエーションが目的の人数 $\div$ 宿泊に来た人数 $\times 100$ で求められる。割合が

最も高い県は、2019年が山梨県(約79.3%)、2020年が石川県(約87.1%)である。

補足

2020年は、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行により、各国で渡航制限や外出制限、ロックダウン(都市封鎖)などの政策が実施された。日本でも不要不急の外出自粛要請や都道府県をまたぐ移動の自粛要請などが行われ、都道府県間の移動が大幅に減少した。

問3 岩手県と茨城県をテーマにした基本問題(p.21~p.23)

解答

- (ア) リアス (イ) 3
(ウ) 6 (ii) え 3 お 5
(エ) 宮古市 a 理由 1
(オ) 2 (ii) 3
(カ) 2 き 4 く 8

解説

- (ア) リアス海岸は三陸海岸のほか、福井県の若狭湾、三重県の志摩半島、愛媛県西部、長崎県などの沿岸に見られる。湾の中は波がおだやかであるため、養殖業がさかに行われている。しかし、地震による津波がおこった際には、被害が大きくなりやすいという課題がある。
- (イ) 岩手県は北上高地で畜産業がさかんで、乳用牛や肉用牛、肉用若鶏の飼育数は全国有数である。よって、畜産の産出額が最も多い3があてはまる。1は果実の産出額が最も多いことから、りんごの生産量が日本一である青森県、2は米と果実の産出額が多いことから、米やさくらんぼの生産がさかんな山形県、4は米の産出額が最も多いことから秋田県があてはまる。
- (ウ) 8月上旬には、山形市の花笠まつりや盛岡市の盛岡さんさ踊り、福島市の福島わらじまつりも行われる。
- (ii) え 宮城県の県庁所在地である仙台市は、東北地方の地方中枢都市である。東北新幹線と東北自動車道の両方が通っている。
- お 福島県の都市は略地図中の5と6である。「交通基盤が整備されたことで工業団地がつくられるようになり」とあることから、5(郡山市)と判断する。
- (エ) 東北地方の太平洋側の地域は、夏に、冷たく湿った北東風であるやませが吹き、やませがもたらす冷気や霧の発生、霧による日照不足で気温が下がらない日が続くことがある。また、やませの影響で、稲が十分に育たず、収穫量が減る冷害がおこることがある。
- 表Ⅱのaは、7月の平均気温が低く日照時間が短いことから、太平洋側に位置する宮古市、bは、1月の降水量が多いことから、日本海側に位置する秋田市があてはまると判断することができる。日本海側の地域は、北西の季節風の影響で、冬の降水量(降雪量)が多くなる。
- (オ) XとYの標高を比べると、Xの方が高い。また、等高線の間隔から、Yに向かう斜面の方が傾きが急で、Xに向かう斜面の方が傾きがゆるやかになっている様子が読み取れる。
- (ii) A、C、Fが正しい説明文である。B、「佐白山」の斜面に多く見られるのは針葉樹林(△)である。広葉樹林の地図記号はQである。D、高等学校(⊗)の近くには三角点(△)があり、「57.0(m)」と標高が示されている。「佐白山」の山頂の標高は205mである。E、鉄道の線路の北側かつ「潤沼川」の西側の地域には、老人ホーム(⌘)や病院(⊕)は見られるが、消防署(〒)は見られない。

- (カ) グラフ中で軽工業にあたるのは、重化学工業に含まれる機械工業、金属工業、化学工業以外の全てである。表Ⅲより、事業所あたりの従業員数は、従業員数÷事業所数、従業員あたりの製造品出荷額は製造品出荷額÷従業員数で求められる。

問4 東海地方と九州地方をテーマにした応用問題(p.24~p.26)

解答

- (ア) 1 (イ) 3 (ウ) 5 (エ) 2
(オ) (i) 2 (ii) 3
(カ) (i) 4
(ii) 九州地方 2 東京都の昼間人口 1593[万人]

解説

- (ア) 高速道路と新幹線は、1964年に開催された東京オリンピックに合わせて建設されたことより、1960年の数値がないaかdであると判断できる。道路と鉄道を比べた場合、延伸しやすい道路の方が総延長も長くなると考えられるので、2020年の総延長を比べたときにdより距離の長いaが高速道路、dが新幹線とわかる。残りのbとcのうち、総延長が長く、さらに、高度経済成長期に自動車普及したこと、1960年と1980年の間に大幅に伸びているcが一般国道になり、残るbが鉄道となる。
- (イ) グラフⅠから、愛知県は冬から春にかけてトマトの出荷が多く、岐阜県は夏にトマトの出荷が多いことが読み取れる。よって、グラフⅡにおいて冬春トマトの生産量割合が高いBが愛知県と判断できる。また、グラフⅢで、東海地方への出荷量を計算すると、Cは約5,000t、Dは約7,700tであることがわかる。グラフⅠから岐阜県より愛知県の方が東海地方への出荷量が少ないことが読み取れるので、Cが愛知県と判断できる。
- (ウ) 岡崎公園の敷地の中には、城跡(□)や神社(〒)が見られる。
- この地形図は、縮尺が2万5千分の1であるので、地形図上で2cmの長さの実際の距離は、 $25000 \times 2\text{cm} = 50,000\text{cm} = 500\text{m} = 0.5\text{km}$ と求めることができる。よって、Xの実際の面積は $0.5 \times 0.5 = 0.25\text{km}^2$ となる。
- (エ) 宮崎県南部や鹿児島県にかけて、シラス台地が広がっている。カルデラは阿蘇山などに見られる、火山が噴火したあとがくぼむことによってできたものである。桜島(御岳)は鹿児島県に位置する火山である。
- (オ) (i) X 九州地方全体の樹園地の合計面積は54,420ha、耕地面積の合計は587,400haである。樹園地の合計面積が耕地面積の合計に占める割合は、 $54,420\text{ha} \div 587,400\text{ha} \times 100$ という計算より、約9.3%である。
- Y 表Ⅱでは、耕地面積(ha)と総面積(km²)の単位が異なることに注意する。1ha=0.01km²であるので、どちらかの単位に統一してから計算する。総面積に占める耕地面積の割合は、 $\text{耕地面積} \div \text{総面積} \times 100$ という計算より求められ、その割合が最も高いのは佐賀県である。
- Z 耕地面積に占める畑の面積の割合は、 $\text{畑の面積} \div \text{耕地面積} \times 100$ という計算より求められ、鹿児島県は約43.4%、沖縄県は約76.5%、宮崎県は約38.7%である。
- (ii) 略地図より、大分県は、60%以上80%未満であることがわかる。大分県の耕地面積は54,700haであるので、田の面積は、耕地面積の60%である32,820haから80%である43,760haの間の数値となる。
- (カ) (i) 北九州工業地域(地帯)は、付近の筑豊炭田などで石炭が多く産出されることと、鉄鉱石の輸入先である中

国に近いことを背景として、官営八幡製鉄所の建設をきっかけに発展した。しかし、1960年代にエネルギーの中心が石炭から石油にかわった(エネルギー革命)ことや、外国から安価で質の良い石炭が輸入されるようになったことから、国内の炭鉱が次々に閉山され、北九州工業地域(地帯)の工業生産は伸び悩むようになった。近年は、自動車工業を中心とした機械工業への転換がはかられている。

- (ii) 昼夜間人口比率とは、夜間人口(常住人口)に対する昼間人口の割合(夜間人口を100とした場合の昼間人口)のことである。首都が位置する東京都は、学校や企業が多く、通学や通勤のために周辺の県から東京都に移動する人が多いため、昼間人口の方が夜間人口より多く、昼夜間人口比率は100%を上回る。反対に、周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県は、昼間人口より夜間人口の方が多く、昼夜間人口比率は100%を下回る。

このことから、表Ⅲのうち、1都県だけ100を大きく上回り、他3都県が100を下回っている1に関東地方があてはまり、4県に大きな差がない2に九州地方があてはまることがわかる。表Ⅲのaは埼玉県、bは千葉県、cは神奈川県、dは東京都、eは熊本県、fは大分県、gは福岡県、hは佐賀県である。

東京都の昼夜間人口比率は117.8であるので、夜間人口が1,352万人の場合の昼間人口は、 $1,352 \text{ 万人} \times 1.178 = 1,592.656 \text{ 万人}$ という計算より求められる。

問5 中国・四国地方をテーマにした応用問題(p.27~p.29)

解答

- (ア) 3 (イ) 4
(ウ) 語句 ハザードマップ 番号 2
(エ) 2
(オ)(i) 1 (ii) 8
(カ) 4

解説

- (ア) 広島市は、もとは城下町であり、太田川の河口に形成された三角州の上に成り立っている。扇状地は、川が山から平地に流れ出たところに土砂が堆積してできる、扇形の地形である。水はけがよく、果樹園に利用されることが多くなっている。

- (イ) グラフから、丸亀市は一年を通して降水量が少ないことがわかる(瀬戸内の気候)。近くに大きな川もなく、水不足になりやすかったので、市内の各地にため池がつけられた。地形図Ⅰでは、ため池の周囲に田(Ⅱ)が広がっていることから、ため池の水は主に農業用水として用いられていると考えられる。

- (ウ) ハザードマップ(防災マップ)は、地震や台風、火山の噴火などの災害による被害を予測し、避難経路や避難場所、防災関連施設などの情報を示したものである。

地震によっておこる災害には、山あいの地域であれば土砂崩れ、海沿いの地域であれば津波が考えられる。町の中にある高層の建築物は、津波が予想される地域では避難場所になりうるため、ハザードマップに情報が記載されていることが多い。2. 高潮は、台風によって引きおこされる災害で、台風の影響で海面の高さがいつもより異常に高くなる現象である。

- (エ) 久世町の小・中学校から見て北東に位置するものを探せばよいので、市役所(◎)があてはまる。発電所または変電所(㍻)は、久世町の小・中学校から見て北西に位置している。

地形図Ⅱ中に☒で示した地点の標高は120m、☑で示

した地点の標高は90mであるので、☒で示した地点の標高の方が30m高くなっている。

- (オ)(i) 冬でもあたたかい高知県の高知平野などでは、その気候をいかして、夏が旬であるなすやピーマンなどの野菜の出荷時期を早める促成栽培を行い、冬から春にかけて出荷している。出荷時期を他の産地とずらすことで、価格が高くなる。

- (ii) a 表Ⅰより、高知県のなすの入荷量が最も多いのは3月である。高知県のなすの入荷量が合計の入荷量に占める割合は、 $1,910,160 \div 2,293,437 \times 100$ という計算より、約83.3%である。

- b 表Ⅰより、合計のなすの入荷量が最も多い8月は、高知県より栃木県の方が入荷量が多いが、1kgあたりの平均価格が最も高いのは2月である。栃木県の金額は、 $1,099,667 \text{ kg} \times 321 \text{ 円}$ という計算より、約3億5,300万円である。

- c 表Ⅰより、高知県と栃木県からのなすの入荷量の差が最も大きい3月の、2県の入荷量の差は、 $1,910,160 - 67,471 = 1,842,689 \text{ kg}$ である。

- d 表Ⅱより、第一次産業就業者数は、高知県が35.9万人 $\times 0.102 = 3.6618 \text{ 万人}$ 、神奈川県が490.0万人 $\times 0.008 = 3.92 \text{ 万人}$ である。

- e 表Ⅱより、第三次産業就業者数は、高知県が35.9万人 $\times 0.723 = 25.9557 \text{ 万人}$ 、中国・四国地方が563.3万人 $\times 0.698 = 393.1834 \text{ 万人}$ である。高知県が中国・四国地方に占める割合は、 $25.9557 \text{ 万人} \div 393.1834 \text{ 万人} \times 100$ という計算より、約6.6%である。9分の1を百分率で表すと約11.1%であるので、9分の1を下回っていることになる。

- f 表Ⅱより、第二次産業就業者数は、高知県が35.9万人 $\times 0.174 = 6.2466 \text{ 万人}$ 、神奈川県が490.0万人 $\times 0.211 = 103.39 \text{ 万人}$ 、宮城県が120.7万人 $\times 0.236 = 28.4852 \text{ 万人}$ 、三重県が94.1万人 $\times 0.323 = 30.3943 \text{ 万人}$ である。高知県、宮城県、三重県の3県合計は65.1261万人となる。

- (カ) 3を出発地とする場合、岡山県と山口県への人口移動が特に多いことが読み取れる。よって3は、岡山県と山口県の両方に接している広島県であると判断できる。次に、岡山県を出発地とする場合を見ると、3の広島県の次に、1への人口移動が多いことが読み取れる。岡山県からは瀬戸大橋を利用した香川県への人口移動が多いと考えられるので、1は香川県と判断できる。残る2と4を比べたとき、4の方が中国地方の各県への人口移動が多いことが読み取れる。よって、瀬戸内海をはさんで中国地方と隣り合っており、瀬戸内しまなみ海道で広島県と結ばれている愛媛県が4であると判断でき、残る2は高知県となる。

3

歴史 (近世までの歴史)

p.30~p.39

問1 弥生時代から江戸時代までの基礎問題(p.30~p.31)

解答

- (ア) 4 (イ) 2
(ウ) 3 (エ)か 2 き 4
(オ) アヘン戦争

解説

(ア) 資料Ⅰの『平家物語』は、源平の争いなど、平家の繁栄と没落を描いた軍記物で、鎌倉時代に成立した。平家の最盛期を築いた平清盛は、宋と貿易を行うために、大輪田泊(現在の神戸港)を整備した。

資料Ⅱは、元寇がおこった時の元の皇帝フビライ・ハンが、鎌倉幕府に送った国書の一部である。鎌倉幕府の執権北条時宗は、日本を従えようと送ってきたこの国書を無視し続けた。こののち、元の軍は、2度にわたって九州北部に襲来した。

(イ) 鎌倉幕府で将軍の下に置かれ、将軍を補佐した役職は執権である。幕府は、地方官として、国ごとに守護、荘園や公領ごとに地頭を置いた。守護は国内の軍事・警察を担当し、地頭は荘園・公領の管理と年貢の取り立てを担当した。

管領は、室町幕府で将軍を補佐した役職である。

(ウ) 略地図中のXは、根室を示している。ロシアの使節ラクスマンは、1792年に根室に来航し、漂流民の大黒屋光太夫を送り届けるとともに江戸幕府に通商を要求した。幕府は長崎で回答すると伝え、のちに長崎に来航したロシア船に対して通商を拒否した。

(エ)か 正倉院は東大寺に位置する宝物庫で、奈良時代に建てられた。聖武天皇にゆかりのある宝物や、当時、シルクロードを通じて唐から日本にもたらされた西アジアやインドなどの品々がおさめられている。

き 勘合貿易は、室町幕府3代将軍の足利義満が1404年に始めた。

(オ) 異国船打払令は、1825年に制定された、日本に近付いた外国船を打ち払うことを命じた法令である。アヘン戦争で清(中国)がイギリスに敗北したことから、江戸幕府はヨーロッパの軍事力を知り、異国船打払令をやめることにした。日本に寄港した外国船に、水や食料、薪などの燃料の補給を行う方針に変更した。

補足

アヘン戦争は、1840年に清とイギリスとの間におこった戦争である。イギリスに敗れた清は、講和条約の南京条約で、5港の開港と香港のイギリスへの譲渡を認めさせられ、以下の内容を含む不平等条約を結ばされた。

- ・イギリスの領事裁判権(治外法権)を認める。
- ・清に関税自主権がない。

問2 弥生時代から江戸時代までの基本問題(p.32~p.33)

解答

- (ア) 2 (イ) 摂政
(ウ)え 2 お 4
(エ)乱後の様子 3 できごと 6
(オ) 土一揆

解説

(ア) 資料Ⅰの印綬と考えられている「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見されたのは福岡県の志賀島である。

資料Ⅱは、室町(戦国)時代の堺(大阪府)について述べたものである。堺は勘合貿易や南蛮貿易によって栄えた都市で、商工業者による自治が行われた。

(イ) 略地図中のXは、京都を示している。平安時代に、藤原氏は娘を天皇のきさきとし、その生んだ子を天皇とするなどして天皇と親戚関係になり、天皇が幼いときには摂政、天皇が成長した後は関白について政治の実権を握った。このような藤原氏の政治を摂関政治と呼ぶ。藤原氏は、11世紀の藤原道長・頼通父子の時に最盛期を迎えた。

(ウ)え 『源氏物語』は、紫式部が平安時代半ばに著した長編小説である。仮名文字で書かれており、国風文化の代表的な作品である。

お 出雲の阿国は、安土桃山時代にかぶき踊りを始めた。

(エ) 承久の乱は、源氏の将軍が3代で絶えたことを、朝廷に実権を取り戻す好機ととらえた後鳥羽上皇が挙兵しておこった戦乱で、1221年に始まった。大軍を送って勝利した鎌倉幕府は、朝廷や西日本の武士の動きを監視するため、京都に六波羅探題を設置した。これによって、幕府は西国への支配を固めた。

補足

承久の乱の際に、源頼朝の妻である北条政子が、頼朝の御恩を説いて御家人の団結をうったえる演説を行った。

4は飛鳥時代、5は江戸時代のできごとである。

(オ) 応仁の乱は、足利義政が室町幕府8代将軍であった1467年におこった。室町時代には、農民などが荘園領主や守護大名に抵抗する土一揆が多発した。正長の土一揆のほか、山城国一揆、加賀の一向一揆などがおこった。

補足

一向一揆は、浄土真宗(一向宗)の教えで結びついた人々を中心となった一揆である。加賀(石川県)では、守護大名を倒して、約100年にわたって自治を行った。

問3 縄文時代から江戸時代までの基本問題(p.34~p.35)

解答

- (ア) 土偶 (イ) 3 (ウ) 3 (エ) 5
(オ) (i) 応仁の乱
(ii)え 分国法 お 領国の支配を強める
(カ) 2 (キ) 8

解説

(ア) 土偶は、縄文時代に、魔よけや豊作を祈るためにつくられたと考えられている。

(イ) 奈良時代の農民には、租のほか、調・庸などの税や雑徭などの労役、防人などの兵役が課せられていた。

743年に墾田永年私財法が定められ、墾田(新しく開墾した土地)を永久に私有することが認められた。この結果、公地・公民の原則がくずれ、貴族や寺社による土地の私有化が進み、荘園へと発展していった。

補足

奈良時代の農民の負担

- 税
 - ・租…収穫の約3%の稲を納める税。
 - ・調…地方の特産物を納める税。 ※調と庸は、都まで運ぶ。
 - ・庸…労役のかわりに布を納める税。
- 労役・雑徭…年間60日以内の地方での労役。
- 兵役・防人…3年間、九州北部の防衛。
- ・衛士…1年間、都の防衛。

(ウ) 現存する世界最古の木造建築物が位置する法隆寺を建てたのは、聖徳太子である。1は菅原道真、2は聖武天皇、4は中臣鎌足が行ったことである。

(エ) ——線④の将軍は、室町幕府3代将軍の足利義満である。義満は、1392年に南北朝の合一を実現した。資料Bの「両朝の合体」とは南北朝の合一をさし、「吉野」は南朝、「京都」は北朝をさしている。

資料Aは、織田信長が安土城の城下に出した、楽市・楽座に関する法令である。

(オ)(イ) 応仁の乱は、将軍足利義政のあと継ぎ争いに守護大名の対立などがからんで京都からおこった。この乱は11年にわたって続き、京都から全国に広がっていった。応仁の乱のころから下剋上の風潮が広まり、戦国大名が登場するようになった。

(カ) 全国統一を成し遂げたのは豊臣秀吉である。2は兵農分離政策の一つである刀狩について述べている。1は江戸幕府(徳川家光)、3は鎌倉時代の北条泰時、4は江戸時代の田沼意次が行ったことである。

(キ) c. 武家諸法度は、2代将軍徳川秀忠の時代の1615年に定められた。d. キリスト教徒を中心とする島原・天草一揆は1637年におこった。b. 1641年にオランダ商館が長崎の出島に移されたことで、鎖国の体制が完成した。a. 目安箱の設置は、1716年に8代将軍徳川吉宗が始めた享保の改革の中の政策である。

問4 古墳時代から江戸時代までの応用問題(p.36~p.37)

解答

- (ア) 4 (イ) 2 → 1 → 3 → 4 (ウ) 4
(エ) 2 (オ) 1
(カ)読み取れること 2 世界のできごと 7
(キ) 3

解説

(ア) Iは江戸時代、IIは平安時代末、IIIは室町時代末(戦国時代)のできごとである。

(イ) 1は平安時代後半、2は奈良時代、3は室町時代、4は江戸時代のできごとである。3. 管領家という語から、管領が将軍の下に置かれていた室町時代のできごとであると判断する。

(ウ) 鉄器は、青銅器とともに弥生時代に日本に伝えられた。

(エ) 1333年に鎌倉幕府を倒した後醍醐天皇は、自ら中心となって政治を行った(建武の新政)。しかし、公家(貴族)を重視したために武家の不満が高まり、建武の新政は2年で終わった。資料Iからは、夜討ちや強盗が発生していたことなど、当時の京都の混乱した状況がうかがえる。

(オ) 上方とは、大阪・京都を中心とする地域をさす。元禄文化は、上方の町人を担い手として栄えた。

江戸時代後半の化政文化は、江戸の町人を担い手として栄えた。喜多川歌麿は、化政文化が栄えたころに、浮世絵の、特に美人画で活躍した。

(カ)読み取れること 1. 田沼意次が老中となったのは1772年である。2. 享保の改革が始まったのは1716年である。3. 耕地の総面積は、1600年が約200万ha、1850年が約320万haである。4. 1haあたりの石高は、総石高÷耕地の総面積という計算より求められる。

江戸時代には、備中ぐわや千歯こきなどの農具の改良や、干鰯などの肥料の普及によって、農業の生産力が向上し、耕地面積の単位あたりの収穫量が増加した。

世界のできごと 5. ルターは1517年に宗教改革を始めた。6. 十字軍の遠征は1096年に始まった。7. フランス革命は1789年におこった。8. 名誉革命は1688年

におこった。

(キ) 略地図中のXは、横浜を示している。1・2. 日米和親条約で函館とともに開かれ、日米修好通商条約によって横浜(神奈川)が開かれると閉じられたのは下田である。4. ベリーは、江戸幕府から長崎に行くよう言われたが、浦賀にとどまった。

補足

日米修好通商条約で開かれた港は、函館、神奈川(横浜)、新潟、兵庫(神戸)、長崎の5港である。この条約は日本にとって不利な不平等条約で、明治時代に入ると、この不平等条約の改正が政府の大きな課題となった。

問5 奈良時代から江戸時代までの応用問題(p.38~p.39)

解答

- (ア) 4 (イ) 1
(ウ)え 貴族と僧 お 寺院の勢力を排除する
(エ) 2 (オ)き 2 く 4

解説

(ア) 資料Iの蝦夷とは、東北地方の、朝廷の支配に従わなかった人々のことである。平安時代初めに、坂上田村麻呂が蝦夷の抵抗を平定すると、朝廷は、現在の岩手県に胆沢城を築いた。

資料IIは、豊臣秀吉が出したバテレン追放令である。バテレンとはキリスト教の宣教師のことである。キリスト教は、1549年に、鹿児島に上陸したフランシスコ・ザビエルによって日本に伝えられた。

(イ) 略地図中のXは、沖縄島を示している。15世紀前半、尚氏が3つに分かれていた沖縄島を統一し、琉球王国を建てた。琉球王国は、日本や中国、台湾、朝鮮半島、東南アジアと近いことから中継貿易がさかんであった。

(ウ) 平城京に都が置かれていた奈良時代には、僧が天皇家と結びついて政治に口出しするようになり、貴族との間で勢力争いが激しくなって政治が混乱した。そのため、桓武天皇は、新たに都をつくり、寺院の勢力を排除して政治を立て直そうとした。

図Iが平城京、図IIが初期の平安京の様子である。図Iと図IIを比べると、平安京に比べて平城京には寺院が多いことがわかる。また、年表から、僧の玄昉と道鏡が天皇家と結びついていること(737年、761年、765年)、彼らが台頭するとそのたび、貴族の藤原広嗣、藤原仲麻呂、和氣清麻呂が争いをおこして敗れたり流されたりしていること(740年、764年、769年)などがわかる。

(エ) 菱垣廻船と樽廻船は、定期的には大阪と江戸を往復した。主に、菱垣廻船は木綿や油、しょう油、樽廻船は酒を運んだ。略地図中のIは東廻り航路、IVは西廻り航路を示している。

(オ)き 時宗は鎌倉時代におこった仏教の宗派の一つで、一遍が開いた。

補足

鎌倉仏教

念仏…浄土宗は法然、浄土真宗(一向宗)は親鸞、時宗は一遍が開いた。

題目…日蓮宗(法華宗)は日蓮が開いた。

禅宗…臨済宗は栄西、曹洞宗は道元が宋から伝えた。

禅宗は座禅によって自分の力で悟りを開こうとする教えで、武士の間に広まり幕府が保護した。

く 歌舞伎は江戸時代に発達し、有名な俳優がうまれた。

4

歴史〔近代以降の歴史〕

p.40~p.49

問1 近代以降の基礎問題(p.40~p.41)

解答

- (ア)(i) 1 (ii) 3 (イ) 4 (ウ) 3
(エ) 1 (オ) ポツダム宣言 (カ) 3 (キ) 4

解説

- (ア)(i) 日清戦争の講和条約である下関条約では、清が朝鮮の独立を認めること、遼東半島、台湾などを日本にゆすり渡すこと、日本に多額の賠償金を支払うことなどが決められた。日本は、この賠償金の一部を使って八幡製鉄所を設立した。八幡製鉄所はその後の日本の重工業の発展に寄与した。
- (ii) 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約によって、ロシアは、日本の韓国に対する優越権を認めた。韓国への影響力を強めた日本は1910年に韓国併合を行った。日露戦争がおこったのは1904年、第一次世界大戦がおこったのは1914年である。
- (イ) 1は1956年、2は1941年、3は1875年、4は1918年、5は1895年、6は1917年のできごとである。大正時代の1918年から行われたシベリア出兵は、ロシア革命に対して各国が兵を派遣したことであるから、6→4の順となる。2. 日ソ中立条約は、1941年に太平洋戦争が始まる直前に結ばれた。1. 日ソ共同宣言は、太平洋戦争後の1956年に調印された。これによって、日本とソ連の国交が回復した。
- (ウ) 第一次世界大戦後、パリ講和会議で民族自決が唱えられ、東ヨーロッパで多くの国が独立を果たした。しかし、アフリカやアジアの国の独立は認められず植民地支配が続いた。これらの地域の国の多くが独立したのは第二次世界大戦後である。
- (エ) 満州事変がおこったのは1931年である。1. 治安維持法は、1925年に制定された。これによって、国内で社会主義に対する取り締まりが強化された。同年には、普通選挙制度が実現し、満25歳以上の全ての男子に選挙権が与えられた。2は1938年、3は1932年、4は1933年のできごとである。
- (オ) 連合国がポツダム宣言を発表した後、広島・長崎への原子爆弾の投下、ソ連の対日参戦などがおこった。日本がポツダム宣言を受諾したことによって、第二次世界大戦は終結した。
- (カ) 3. 資料Ⅱより、最後にアメリカ合衆国から援助を受けたのは1951年である。1. 朝鮮戦争が始まったのは1950年である。資料Ⅰより、1950年の生産指数は約50であり、1940年の約半分である。2. サンフランシスコ平和条約が結ばれたのは1951年である。資料Ⅰより、1949年以降、鉄鋼の生産指数が機械を上回っている。4. 自衛隊が発足したのは1954年である。資料Ⅱより、1950年以降、輸入額が輸出額を上回っている。

補足

朝鮮戦争による特需は、日本で大量の物資が調達されたことからおこった。この特需により、日本は好景気になって、戦後の復興が早まった。

朝鮮戦争に在日アメリカ軍が出兵したため、GHQの指示で警察予備隊がつくられた。警察予備隊はその後、保安隊となり、1954年に自衛隊になった。

- (キ) 日本は、1950年代半ばから1973年に石油危機がおこるまで高度経済成長が続いた。高度経済成長期は、人々の生活が豊かになる反面、四大公害病をはじめとする公害が問題となった。これに対処するため設置された環境庁は、2001年に環境省となった。

湾岸戦争は1991年におこった、アメリカ合衆国を中心とする多国軍とイラク軍の間の戦争である。

問2 近代以降の基本問題(p.42~p.43)

解答

- (ア) 1 (イ)(i) 2→5→1 (ii) 原敬
(ウ) 1, 3 (エ) 3
(オ)(i) 5→1→4
(ii) 組み合わせ 2 政策 8
(カ) 2

解説

- (ア) 自由民権運動は、議会の設立や憲法の制定を要求する運動である。1880年に、国会開設を目的として国会期成同盟が結成された。3. 立憲改進党は、国会開設の勸諭を受けて1882年に結成された。2・4. 新婦人協会と全国水平社が結成されたのは、大正時代である。
- (イ)(i) グラフⅠより、男子による普通選挙が初めて実施されたのは1928年である。1は1919年、2は1914年、3は1932年、4は1929年、5は1915年のできごとである。2・5. 第一次世界大戦がおこり、欧米列強のアジアへの影響力が弱まるなか、日本は中国に対して二十一条の要求を示し(1915年)大部分を認めさせた。1. 第一次世界大戦が終わり民族自決の風潮が強まるなか、日本の植民地支配下にあった朝鮮で、独立を求める三・一独立運動がおこった(1919年)。
- (ii) 米騒動によって、藩閥の寺内正毅内閣が退陣すると、立憲政友会総裁の原敬を内閣総理大臣とする内閣が発足した。原内閣は、陸軍、海軍、外務の3大臣以外、衆議院第一党の立憲政友会党員で組織された本格的な政党内閣であった。
- (ウ) 1は1900年、2は1879年、3は1854年、4は1876年、5は1873年のできごとである。1. 義和団事件は、清で、外国勢力を排除しようとしておこった事件で、日露戦争のきっかけとなった。3. 日米和親条約は、江戸時代末期の1854年に結ばれた条約で、これによって日本は開国することとなった。
- (エ) ヒトラーが首相となり、第二次世界大戦の発端をつくった国は、ドイツである。

世界恐慌の影響などで、国内の政治や経済が混乱するなか、ヒトラーの率いるナチス(国民社会主義ドイツ労働者党)は、ユダヤ人の迫害や共産主義者の攻撃などを行いドイツ民族の優秀さを強調して人気を集め、国民の不満をあおって勢力をのばし、独裁を確立した。

補足

同じ時期に、イタリアでは、ファシスト党のムッソリーニによる独裁政治が行われた。ドイツやイタリアで行われた、民主主義を否定し、個人より民族や国家を優先し(全体主義)、武力による侵略を進めた政治運動をファシズムと呼ぶ。

- (オ)(i) 1は1945年、2は1938年、3は1912年、4は1953年、5は第二次世界大戦中のできごとである。第二次世界大戦が始まり戦争が激化する中で、米が配給制となった。第二次世界大戦が終結し日本が敗れると、GHQによる民主化政策の一つとして財閥解体が行われた。

テレビ放送は、戦後の1953年に始まった。

- (ii) GHQによる民主化政策の一つとして農地改革が行われた。農地改革は、政府が地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡し、自作農を増やした政策である。
- (カ) 第二次世界大戦後、アメリカ合衆国とソ連を中心として冷戦(冷たい戦争)と呼ばれる対立が続いた。朝鮮戦争やベトナム戦争では、両陣営が介入して、戦争が長期化・激化した。1989年に、アメリカ合衆国のブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が、マルタ会談で冷戦の終結を宣言した。1991年にソ連が解体すると、ロシア連邦やウクライナ、カザフスタンなど15か国が独立した。

問3 近代以降の応用問題(p.44~p.45)

解答

- (ア) 3 (イ) 4 (ウ) 6
(エ) 1, 4
(オ) 1 (カ) 4

解説

- (ア) リード文から、クーベルタンが誕生したのは1863年、第1回夏季オリンピックが開催されたのは1896年である。1863年から1896年は、日本では、幕末から日清戦争直後までの時期になる。3. 日米修好通商条約は、1858年に結ばれた。1 は明治時代初期の1872年、2 は1894年(甲午農民戦争は日清戦争のきっかけとなった)、4 は明治時代初期の1871年のできごとである。

- (イ) リード文に、「日本で初めてオリンピックが開かれたのは、戦後の東京大会(夏季大会)です。このとき、わずか4年前に国内でカラー放送が始まったテレビが、…」とあることから、テレビのカラー放送が始まったのは、東京オリンピックが開催された1964年の4年前の1960年とわかる。また、ラジオの民間放送の開始は、表に見られるように、警察予備隊が設置された1950年のすぐ後の1951年である。

4. アジア・アフリカ会議は1955年に開かれた。このころは、冷戦下の国際的な緊張が緩和された時期であった。1. 1911年に辛亥革命がおり、翌1912年に中華民国が成立した。2. 日本の自衛隊が、初めて国連平和維持活動(PKO)に派遣されたのは1992年(カンボジア)である。3. 大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国が成立したのは、朝鮮戦争より前の1948年である。

- (ウ) A. ナチスが第一党になったのは1932年である。Bは1919年、Cは1882年のできごとである。

19世紀末に、ドイツが強国として台頭し、オーストリア、イタリアと三国同盟を結ぶと、イギリス、フランス、ロシアは三国協商を結んで対抗した。この対立によって、第一次世界大戦がおこった。第一次世界大戦で敗北したドイツは、民主的な憲法であるワイマール憲法を制定し共和国として再出発した。しかし、莫大な賠償金などが負担となって経済の混乱が長引くと、政権を握ったナチスが独裁政治を行い、国際連盟を脱退し軍備を増強した。

補足

イタリアは、領土問題をめぐってオーストリアと対立し、三国同盟を離脱して、第一次世界大戦では連合国(三国協商)側に立って参戦した。

- (エ) 資料Ⅰは、第一次世界大戦のことを示している。第一次世界大戦で、連合国やアメリカ合衆国への工業製品の輸出が増加したことなどから、国内の産業が発展し、特に、鉄鋼や造船を中心とする重化学工業が成長した。こ

のため、第一次世界大戦中の日本では、工業生産額が農業生産額を、輸出額が輸入額を上回った。資料Ⅱでは、第一次世界大戦中の1914年~1918年に、アがイを上回っていることから、アが輸出額とわかる。

第一次世界大戦によって日本は好景気となり(大戦景気)、労働者の賃金は上昇したが、物価も上昇した。資料Ⅲより、米価や卸売物価の上昇のわりには賃金が上がっていないことがわかり、労働者にとっては、賃金が上がっても生活が苦しくなっていたといえる。

- (オ) 沖縄は1972年に日本に返還されたが、返還後もアメリカ軍基地が多く残っており、現在でも課題となっている。同じ1972年には、日中共同声明によって中華人民共和国(中国)と国交を正常化した。その後、1978年に日中平和友好条約が結ばれた。小笠原諸島が日本に返還されたのは、1968年である。

- (カ) 表よりモスクワオリンピックは、第22回夏季大会である。1964年の東京オリンピックが第18回であり、オリンピックは4年ごとに開催されることから、モスクワオリンピックが開催されたのは1980年とわかる。

1960年代から冷戦の緊張緩和が進んでいたが、1979年にソ連がアフガニスタンに侵攻したことから、再び東西両陣営の対立が激化した。アメリカ合衆国をはじめとする資本主義国が、このソ連によるアフガニスタン侵攻に抗議し、ソ連の首都であるモスクワで開催されるオリンピックに参加しなかった。

1~3も冷戦に関するできごとである。1は1962年、2は1961年、3は1955年のできごとに関して述べている。

問4 近代以降の応用問題(p.46~p.47)

解答

- (ア)(i) 4 (ii) 3 (イ) 2
(ウ)う 米の収穫高 え 地価
お 安定した収入を確保する
(エ) 4 (オ) 1
(カ) 4→1→6→3

解説

- (ア)(i) アメリカ合衆国では、国内で、貿易や奴隷制をめぐって南北戦争が1861年から1865年まで続いた。そのため、日本との貿易は縮小し、かわってイギリスが日本の主要な貿易相手国となった。

- (ii) 領事裁判権(治外法権)の撤廃は、1894年に、外務大臣の陸奥宗光が実現した。教育勅語が出されたのは1890年、世界恐慌がおこったのは1929年である。

不平等条約の内容のうち、関税自主権の回復は、1911年に、外務大臣の小村寿太郎が実現した。これによって、不平等条約の完全な改正が達成された。

- (イ) 学制は、明治時代はじめの1872年に定められ、満6歳以上の男女を小学校に通わせることが義務づけられた。当初は授業料が必要だったが、明治時代後半の1900年には、小学校の授業料が無償化され、就学率も高まった。3. 小学校を国民学校としたのは、太平洋戦争が始まった1941年である。4. 民主主義教育の基本的な考え方を示したのは、戦後に出された教育基本法で、1947年に制定された。

- (ウ) 資料Ⅱと資料Ⅲを比較すると、米の収穫高を基準にしていた江戸時代の年貢に比べて、明治時代の地租は安定していることが読み取れる。これは、地価を基準にすることで、米の不作などの影響を受けないためである。また、現金で納めさせることで、米価の影響も受けなくなった。

(エ) 教育勅語は、大日本帝国憲法が公布された翌年の1890年に出された。1. 1912年に第一次護憲運動がおこり、翌1913年に桂太郎内閣は倒れた。2. 大逆事件は1910年におこった。3. 吉野作造は、大正時代に民本主義を唱え、大正デモクラシーの中心的人物となった。

(オ) 世界恐慌がおこると、イギリスやフランスなど植民地を多く持つ国は、本国と植民地との関係を密接にして貿易を拡大し、関係の深い国々だけで経済を成り立たせようとするブロック経済をとり、自給自足による体制で不況を乗り切ろうとした。

社会主義国となっていたソ連は、五か年計画をかけた、重工業中心の工業化と農業の集団化を強行しており、世界恐慌の直接の影響を受けずに成長を続けた。

補足

世界恐慌は、1929年に、アメリカ合衆国のニューヨークの株式市場で株価が大暴落したことからおこった。

世界恐慌に対して、アメリカ合衆国は、農業・工業の生産調整や、大規模な公共事業などを中心としたニューディールと呼ばれる政策を行った。

植民地が少ないドイツ、イタリア、日本などは、対外進出を強め、ファシズムへと進んでいった。

(カ) 戦後の教育改革の一環として、1947年に教育基本法が制定され、民主主義教育の基本的な考え方が示された。この中で、義務教育が9年に延長された。

1は1956年、2は1940年、3は1965年、4は1951年、5は1905年、6は1960年のできごとである。したがって、1947年以降のできごとを古いものから順に並べると、4→1→6→3となる。4・6. サンフランシスコ平和条約と同時に、日米安全保障条約が結ばれ、連合軍による占領終結後もアメリカ軍が国内に残ることになった。日米安全保障条約は、日米関係強化のために1960年に改定され、このとき、改定に対する激しい反対運動(安保闘争)がおこった。

5. ポーツマスでの講和会議は、日露戦争の講和会議である。2. 大政翼賛会は、日中戦争中に、挙国一致体制の中で政党を解散して結成された。

問5 近代以降の応用問題(p.48~p.49)

解答

(ア) 徴兵令

(イ) あ 2 い・う 5 え 黒字

(ウ) 6 (エ)(i) 1 (ii) 4

(オ) 5

解説

(ア) 明治政府は、国民を兵力とした近代的で統一的な軍隊をつくることを目的に、徴兵令を出した。これによって、満20歳以上の男子は兵役の義務を負うこととなったが、当初は免除規定が多く、長男など多くの人が免除された。また、兵役を負うことに反対した農民たちによる徴兵反対一揆もおこった。

徴兵令の制定と地租改正の実施は、1873年に行われた。これらと、1872年の学制の公布が、明治維新の三大改革である。

(イ) 明治時代の産業革命の中心となった繊維工業のうち、紡績業は綿糸、製糸業は生糸を生産する工業のことである。

資料Ⅰと資料Ⅱから紡績業の変化について読み取る。資料Ⅰより、1882年に比べて1896年は、輸入総額に占める綿糸の割合が減少し、綿糸の原料となる綿花の割合が

増えていること、資料Ⅱより、紡績業の製品の一つ(=綿糸)の国内生産量が1880年代後半から急激に増加していることがわかる。これらより、製品である綿糸の国内生産量の増加に伴って、綿糸の輸入が減り、かわりに綿糸の原料となる綿花の輸入が増え、輸入した綿花を使って綿糸を生産していたと考えられる。

資料Ⅲから製糸業の変化について読み取る。資料Ⅲより、生糸の輸出額が増えても、原料となる繭の輸入額は増えておらず、さらにほとんど輸入していないことがわかる。これらより、繭は国内で生産をまかなうことができおり、原料の繭の輸入が増えずに、製品の生糸の輸出が増えていることから、貿易黒字を生み出していたと考えられる。

(ウ) Cの内閣制度は1885年に創設された。1は1877年、2は1895年、3は1881年、4は1871年、5は1906年、6は1918年のできごとである。したがって、1885年以降のできごとを古いものから順に並べると、2→5→6となる。

岩倉使節団の欧米派遣、西南戦争の勃発は、明治時代はじめのできごとで、1885年以前のできごとである。西南戦争などをきっかけに、明治政府への批判が武力から言論にかわるなかで、政府のしくみが整えられていき、内閣制度の創設、国会の開設、憲法の公布が行われたことを理解する。自由党は、国会開設の勅諭が出されたことを受けて結成された。

台湾総督府の設置は日清戦争の直後、南満州鉄道株式会社の設立は日露戦争の直後に、それぞれの講和条約の内容を受けて行われた。米騒動は、シベリア出兵の直前におこった。

(エ)(i) Dは1910年、Eは1945年のできごとである。これより、グラフ中のaの期間は、1929年~1930年とわかる。1929年に世界恐慌がおこったことから、混乱した経済の中で、軍備の縮小によって国民の負担を軽減するために軍縮が進み、1930年にロンドン海軍軍縮会議が開かれた。グラフ中のbの期間は、1937年~1945年である。1937年に日中戦争がおこり、日本は中国と戦争を始めた。

ワシントン会議は1921年に開かれた。日本がアメリカ合衆国と戦争をしていたのは、太平洋戦争が始まった1941年から1945年の間である。

(ii) 4. 大正時代に新聞の発行部数が伸び、雑誌の種類が増え、ラジオ放送が開始された。1・2. 戦後の様子である。エネルギー革命、新幹線や高速道路の開通は高度経済成長期の1960年代前半のことである。3. 明治時代はじめの文明開化の様子である。

(オ) 1973年の石油危機後、省エネルギー化や経営の合理化などを進めた日本は安定成長期に入り、アメリカ合衆国などへの輸出を増やした。1980年代後半から1990年代はじめには、地価や株価が異常に高くなるバブル経済となったが、1991年に崩壊すると、長い不景気の時代となった。

特需景気は、朝鮮戦争による特需が原因となった1950年代前半の好景気のことである。

イスラエルは、地中海に面している西アジアの国で、国民の多くがユダヤ人である。首都はエルサレムとしている。

問1 選挙をテーマにした基礎問題(p.50~p.51)

解答

- (ア) 6 (イ) 3 (ウ) i) 7 (ii) 2
(エ) 1 (オ) 6 (カ) 2 (キ) 8

解説

(ア) 日本国憲法に定められている基本原理は、国の政治の最終的な決定権は国民がもつとする「国民主権」、人が自由に人間らしく生きていくことを保障するための「基本的人権の尊重」、戦争を永久に放棄し、世界の恒久平和のために努力するという「平和主義」の3つである。

世論の形成はマスメディアと深いかわりがある。

(イ) 1. フランスの思想家モンテスキューは、『法の精神』を著し、三権分立を説いた。『統治二論』を著し、人間は生まれながらにして生命・自由などの人権をもっていることを説いたのは、イギリスの思想家ロックである。2. 名誉革命で出されたのは『権利(の)章典』である。『マグナ・カルタ』は1215年にイギリスで出された法で、現在のイギリス憲法の一部でもある。4. 社会権を初めて保障したワイマール憲法は、ドイツで制定された。

(ウ) i) 日本の衆議院議員総選挙は、一つの選挙区から一人の代表を選ぶ小選挙区制と、全国を11のブロックに分けて行う比例代表制を組み合わせた小選挙区比例代表並立制が採用されている。小選挙区制による選挙は、大選挙区制に比べて選挙区が小さいので、選挙にかかるお金が少なくすむという利点があるが、議席を獲得できなかった候補者に投じられた票である「死票」が多くなるという問題点がある。参議院議員の任期は6年だが、衆議院と違い解散がなく、3年ごとに半数が改選されるため、参議院議員選挙は必ず3年に1回行われる。

(ii) 「有権者一人あたりの票の価値が最も低」とは、議員一人あたりの有権者数が最も多いということである。よって、**カ**にあてはまるのは東京13区である。一票の格差は、日本国憲法第14条で定められている「法の下での平等」や、選挙の基本原則の一つである平等選挙に反すると考えられている。

(エ) 国民が政治に参加する権利を参政権という。請求権は人権を確実に保障するために、国に対して一定の行いをするように要求する権利のことで、裁判を受ける権利などが含まれる。

(オ) 法律案は内閣、国会議員のどちらも提出できる。また、法律案は衆議院・参議院のどちらに提出してもよい。公聴会は、委員会による審議の中で、関係者や学識経験者などから意見を聞く目的で開かれることがある。

問2 日本国憲法をテーマにした基本問題(p.52~p.53)

解答

- (ア) 3 (イ) i) 象徴 (ii) 2
(ウ) i) 4 (ii) 内閣の助言と承認
(エ) 2 (オ) 1 (カ) 6

解説

(ア) 日本国憲法は、当時日本を占領していた連合国軍最高

司令官総司令部(GHQ)の作成した大日本帝国憲法改正案をもとに審議を重ねられ、1946年11月3日に公布、翌年の1947年5月3日に施行された。

(イ) i) 大日本帝国憲法では、主権は天皇にあり、天皇は神聖不可侵で統治権をもつ元首として定められ、大きな力をもっていた。日本国憲法では、天皇は日本国、及び日本国民統合の象徴とされて政治的な権力をもたず、主権は国民にあるとされている。

(ii) 1. 大日本帝国憲法下の国会(帝国議会)は、天皇の協賛(同意)機関であった。3. 大日本帝国憲法では、兵役の義務と納税の義務を国民の義務として定めていた。日本国憲法では、納税の義務、勤労の義務、子どもに普通教育を受けさせる義務の3つが国民の義務として定められている。4. 大日本帝国憲法下では、国務大臣は天皇を輔弼する(助ける)こととされた。

(ウ) i) 天皇の国事行為には、栄典の授与、国会の召集、法律や条約の公布、衆議院の解散、内閣総理大臣や最高裁判所長官の任命などがある。いずれも形式的・儀礼的な行為である。

補足

内閣総理大臣の指名は国会、最高裁判所長官の指名は内閣の仕事である。

(ii) 天皇の国事行為には、内閣の助言と承認が必要であり、その責任は内閣が負う。

(エ) 自由権のうち、経済活動の自由にあたるのは、居住・移転・職業選択の自由と財産権の保障である。これらに関する条文は、aの第29条(財産権の保障)とcの第22条(居住・移転・職業選択の自由)である。bは身体(生命・身体)の自由、dは精神(精神活動)の自由に関する条文である。

(オ) インフォームド・コンセントとは、医療の現場で患者が治療方法などを自分で決定できるように、医師などから病気の告知や治療方針に対する十分な説明を受け、理解・納得し同意することである。これは、個人が自分の生き方や生活について自由に決定する「自己決定権」が主張されるようになったことで一般的になった。自らの死後の臓器移植についての意思を示す臓器提供意思表示カードをもつこともインフォームド・コンセント同様に、自己決定権を尊重するものである。

(カ) 日本国憲法を改正するには、まず、国会に提出された改正原案が衆議院・参議院それぞれにおいて、総議員の3分の2以上の賛成を得て可決されることが必要である。これを受けて、国会が国民に対して憲法改正の発議をする。そして国民投票が行われ、有効投票の過半数の賛成を得られれば日本国憲法は改正される。改正された日本国憲法は、天皇が国民の名で公布する。

補足

日本では国や地方公共団体の政治に間接民主制が採用されているが、日本国憲法の改正手続きなど一部のことがらにおいて、直接民主制のしくみがとり入れられている。

問3 国と地方の政治をテーマにした基本問題(p.54~p.55)

解答

- (ア) 4 (イ) i) 3
(ウ) ii) う 議院内閣
え 10日以内に衆議院を解散する
(ウ) i) 条例 (ii) 1 (エ) 4 (オ) 2

解説

(ア) 民事裁判においては、訴えた人を原告、訴えられた人を被告という。

三審制のしくみでは、第一審の判決に納得できない場合、第二審の裁判所に申し立てることを控訴、第二審の判決に納得できない場合、第三審の裁判所に申し立てることを上告という。

補足

法律に違反する罪を犯したかどうか(有罪か無罪か)、また、有罪の場合、どの程度の量刑にするかを決定する刑事裁判においては、検察官が被疑者を被告人として裁判所に訴える。

(イ)(i) 1の常会(通常国会)は、毎年1回、1月中旬に召集され、会期が150日間と決められている。2の緊急集会は、衆議院の解散中、緊急の必要があるときに、内閣の求めによって参議院で開かれる。4の特別会(特別国会)は、衆議院解散後に行われる総選挙の日から30日以内に召集されるもので、新しい内閣総理大臣の指名が行われる。

(ii) 議院内閣制を採用している日本では、有権者が行政の長である内閣総理大臣を直接選挙で選ぶことができない。しかし、国の主権者は国民であり、その国民が直接選挙で選んだ議員で構成されている国会(立法院)が国権の最高機関であることから、内閣総理大臣は必ず国会議員から選ばれなくてはならず、国会が内閣不信任決議を可決したら、内閣は10日以内に衆議院を解散するか、総辞職しなければならない。

補足

内閣不信任決議は、衆議院のみで行うことができる。

(ウ)(i) 条例は、憲法や法律に反しない範囲で独自に定めることができる。

(ii) 地方債は $1.9(\text{兆円}) \times 0.112 = 0.2128(\text{兆円})$ 、国庫支出金は $1.9(\text{兆円}) \times 0.075 = 0.1425(\text{兆円})$ より、**お**には地方債があてはまる。地方交付税交付金は、地方公共団体間の財政格差をおさえるために国から使い道を指定されずに支給される交付金のことで、地方税収入が多い都道府県はその割合が少ない傾向にある。使い道を定められて国から支給されるのは国庫支出金である。

(エ) 1. 節分は2月3日に行われる地域が多く、邪気を追い払うために炒った豆をまいたり、食べたりする行事である。かぼちゃ料理を食べたり、ゆず湯に入ったりするのは、冬至における習慣である。2. 彼岸は3月と9月である。3. お盆(盂蘭盆会)は8月に行われる地域が多く、お墓参りに行くなどして、先祖を供養する行事である。願いごとを書いた短冊などを笹に飾るのは七夕である。

(オ) aにあてはまる総務省は、行政の基本的な制度の管理、選挙、消防や防災などを担当している。bにあてはまる国土交通省は、国土の開発や保全、交通政策の推進、気象業務などを担当している。地形図を発行している国土地理院は、国土交通省に属している。

問4 現代社会と地方自治をテーマにした応用問題(p.56~p.57)

解答

- (ア) 民主主義 (イ) 2
(ウ)(i) 3 (ii) 3 (iii) 5
(エ) 1

解説

(ア) 「地方自治は民主主義の学校」という言葉は、イギリスの政治家・法学者のジェームズ・ブライスによるものである。

(イ) イラスト中のCで示した情報から、このごみ袋を使って、生ごみや紙くず、草や木を捨てられることが一目でわかる。ユニバーサルデザインとは、国籍や言葉、障がいの有無、年齢や性別などにかかわらず利用できるような製品や施設などのデザインのことである。

バリアフリーは、高齢者や障がいのある人が社会生活に参加するうえで支障となる物理的・精神的な障壁を取り除くこと、ノーマライゼーションは、障がいの有無にかかわらず全ての人が平等に生活する社会を実現させようという考え方である。

(ウ)(i) 地方公共団体の首長、地方議会議員は、有権者が選挙で選ぶ。国政においては、有権者が選挙で選ぶのは国会議員のみである。よって、選挙があてはまるのは、D、E、Fである。

(ii) 首長や地方議会議員などの解職を請求することをリコールという。首長と地方議会議員の解職を請求するには、有権者の3分の1以上の署名を集めて、選挙管理委員会に請求する。

補足

地方議会の解散の請求は有権者の3分の1以上の署名を集めて、首長に請求する。条例の制定・改廃の請求、監査請求は有権者の50分の1以上の署名を集めて、条例の制定・改廃の請求の場合は首長に、監査請求の場合は監査委員にそれぞれ請求する。

(iii) 日本国憲法第64条は、重大なあやまちのあった裁判官を辞めさせるかどうかを決める弾劾裁判所の設置について定めている。弾劾裁判所の設置は、国会(立法)が裁判所(司法)に対してもつ働きである。

(エ) 効率とはむだを省くという考え方で、公正とは、不利益をこうむっている人をなくそうとしたり、みんなが同じ条件になるようにしたりするという考え方のことである。

お 例えば、容量が45Lのごみ袋しか売られていないとすると、ごみの量が普段から少ない家庭では、ごみ袋がいっぱいにならないうちにごみを捨てることになり、むだが生じる。一方、容量が20Lのごみ袋しか売られていないとすると、ごみの量が多い家庭がごみ袋を何枚も使うことになるため、ごみ袋を取り換えるなどの手間が増えるというむだが生じる。これらを解決するために、2種類の容量のごみ袋を製造・販売することは効率的であるといえる。

か 容量が45Lのごみ袋のほうが、容量が20Lのごみ袋に比べて、ごみの収集や運搬のために使用する費用が高く設定されていることがわかる。ごみの量に応じて負担額を変えるしくみは、ごみの量に応じてごみ処理費用の負担額に差をつけ、ごみの量の少ない家庭が不利益をこうむらないようにするという考えにもとづいているので、公正であるといえる。

問5 現代社会と国の政治をテーマにした応用問題(p.58～p.59)

解答

- (ア)あ 公共の福祉 い A (イ) 4
(ウ) 6 (エ)(i) 4 (ii) 2
(オ) 3

解説

- (ア) 公共の福祉とは、社会全体の共通の利益をさし、ほかの人の人権との衝突を調整するための原理である。社会権の1つである労働基本権において、労働者には要求を実現するためにストライキなどを行う権利(団体行動権)が認められている。しかし「全体の奉仕者」として仕事をするのが求められている公務員がストライキを行うと、住民サービスが滞り、多くの国民の人権を損なうことになると考えられるため、日本では公共の福祉の観点から、公務員のストライキを禁止している。
- (イ) 司法制度改革の一環により、被害者が裁判に参加することが認められるようになった。1. 日本に設置されている裁判所は、最高裁判所と、下級裁判所である高等裁判所、地方裁判所、家庭裁判所、簡易裁判所の5種類である。2. 犯罪が発生したときの捜査は警察と検察官が担当するが、被疑者を被告人として裁判所に訴える(起訴)のは検察官の仕事である。3. 裁判員裁判が導入されているのは、殺人や強盗致死などの重大な犯罪についての刑事裁判で、裁判員が参加するのは、地方裁判所で行われる第一審のみである。
- (ウ) 衆議院の優越が認められているのは、bの内閣総理大臣の指名、cの条約の承認、dの予算の議決のほか、予算の先議(予算案は必ず先に衆議院に提出しなければならない)や内閣不信任の決議、法律案の議決である。a. 国政調査権は、衆議院と参議院が対等にもつ。

補足

衆議院に優越が認められているのは、衆議院議員の任期が参議院議員の任期に比べて短く、解散もあるため、より民意を反映していると考えられるからである。

- (エ)(i) 閣議は、内閣総理大臣と全ての国務大臣が出席して開かれる会議で、行政の運営について全会一致で決定している。1. 内閣総理大臣は必ず国会議員から指名される。2. 国務大臣を任命するのは内閣総理大臣である。3. 国務大臣の過半数は、必ず国会議員から選ばれる。
- (ii) 大きな政府は、小さな政府とは反対に、国民に提供する福祉の水準が高いかわりに、税負担も高い政府のことである。
- 規制緩和とは、行政機関の許認可権を見直し、政府による民間企業の活動に対する規制を廃止したり緩和したりすることである。規制緩和の例としては、さまざまな会社が消費者に電力を直接販売できるようになった電力の自由化のほか、コンビニエンスストアで薬の販売ができるようになったことなどが挙げられる。
- (オ) 採決のしかたには、全会一致や多数決などの方法がある。一定時間内で結論を出さないといけない場合には、より多くの人が賛成する案を採用する多数決がとられることが多い。

表Ⅰより、遠足の行き先で最も票を集めた博物館は、Kさんの学年の過半数(89人以上)の賛成を得ているが、表Ⅱより、学芸会の出し物で最も票を集めた合唱は過半数に達していないことがわかる。表Ⅱの結果を言い換えると、合唱に反対する人の合計が合唱に賛成している人

より多いということになり、得票数が最も多いという理由で合唱に決めてしまうのは学年の意見をきちんと反映できていないことになる。1回目の投票で1番目、2番目に賛成を集めた合唱と演劇の2つに候補をしぼって再投票を行えば、どちらかの案が過半数の賛成を得られるので、1回目の投票結果で合唱に決めるより民主的な決定方法であるといえる。

X. 学年177人の過半数は89人以上である。博物館の票数は98で過半数であるが、合唱の票数は79で半数に満たない。Y. 学年177人の3分の2は118人である。博物館の票数は98で3分の2未満であり、合唱と演劇の合計票数は79+65=144で3分の2以上である。Z. 学年177人の8割は141.6人である。博物館と美術館の合計票数は98+53=151、合唱と演劇の合計票数は144でどちらも学年の人数の8割を上回っている。

6

公民 (経済・国際社会)

p.60~p.69

問1 経済・国際社会をテーマにした基礎問題(p.60~p.61)

解答

- (ア) 3 (イ) 4 (ウ) 1
 (エ) (i) 労働基準法 (ii) 4
 (オ) 2

解説

- (ア) 1. 個人や家族など、消費生活を営む単位を家計という。2. 消費支出は、衣食や娯楽、教育、医療など、生活に必要な財やサービスに対する支出である。4. 私たちが得られる収入のことを所得という。給与所得や事業所得のほか、所有しているアパートや株式などの財産から得る所得(財産所得)などがある。
- (イ) 税は納め先により、国税と地方税に分けられる。また、納め方により、直接税と間接税に分けられる。直接税は税金を納める人と負担する人が同じ税で、所得税や住民税、法人税などがあてはまる。間接税は税金を納める人と負担する人が異なる税で、消費税や関税などがあてはまる。
- (ウ) 株式会社は、株式を発行して得られた資金をもとに設立された会社で、多くの人から資金を集めることができるという利点がある。株式を購入した出資者は株主と呼ばれ、利潤の一部を配当(配当金)として受け取ることができる。株主は、会社の最高意思決定機関である株主総会に出席し、経営方針などについて議決することもできる。
- 補足**
 株主総会での議決権や、配当(配当金)の額については、持っている株式の数によって決まる。また、出資した企業が倒産したとしても、株主は出資した金額を失うが、それ以上の責任は負わない。

- (エ) (i) 労働基準法には、労働者の労働時間は週40時間、1日8時間以内にとすることや、労働者には少なくとも週1回の休日を与えることなどが定められている。
- (ii) 日本では近年、正規労働者が減る一方、非正規労働者が増える傾向にある。日本の女性は、育児・家事の負担割合が男性よりも高いなどの理由から、非正規雇用で働く人の占める割合が男性と比べてかなり高くなっている。
- (オ) 1. 酸性雨は、化石燃料を燃やして排出される硫黄酸化物や窒素酸化物などが雨にとけこみ、強い酸性を示すようになった雨である。フロンガスは、オゾン層を破壊する原因物質である。3. 1997年の京都議定書では、先進国に温室効果ガスの削減が義務付けられた。しかし、アメリカ合衆国の離脱や先進国と途上国の間の利害対立などの課題があった。2015年に採択されたパリ協定では、途上国を含む196の国・地域が削減目標を立てて取り組むことになった。4. 森林伐採や過度な焼畑耕作によって砂漠化が特に進行しているのは、東南アジアやアフリカ大陸北部である。

問2 金融と財政をテーマにした基本問題(p.62~p.63)

解答

- (ア) 中央 (イ) 2
 (ウ) (i) インフレーション(インフレ)
 (ii) 5
 (エ) (i) 2
 (ii) か 格差を小さくする
 税金 3

解説

- (ア) 世界の国々は、中央銀行と呼ばれる特別な働きをする銀行をもっている。日本の中央銀行は日本銀行である。
- (イ) 日本銀行には、紙幣(日本銀行券)を発行する「発券銀行」としての役割、政府の資金を預金として預かり、その出し入れを行う「政府の銀行」としての役割、一般の銀行に対して資金の貸し出しや預金の受け入れを行う「銀行の銀行」としての役割がある。b. 国債を発行するかどうかが決定するのは政府の仕事である。
- (ウ) (i) 好景気(好況)のときに生じやすいインフレーション(インフレ)に対し、不景気(不況)のときに生じやすい、財やサービスの需要が供給を下回り、物価が下がり続ける現象をデフレーション(デフレ)という。デフレーションによる物価の下落と企業利益の減少が連続することをデフレスパイラルと呼ぶ。
- (ii) 景気の安定を図る政策のうち、日本銀行が行うものを金融政策、政府が行うものを財政政策と呼ぶ。金融政策は、日本銀行が国債の売買を行って市場に出回る通貨量を調整する公開市場操作が一般的である。不景気(不況)のときは、市場に出回る通貨の量を増やす必要があるため、一般の銀行がもっている国債を日本銀行が購入することで一般の銀行の資金量を増やす。資金量が増えると銀行から企業への貸し出しも増え、景気回復がうながされる。好景気(好況)のときはその逆を行う。

補足

政府の財政政策において、不景気(不況)のときは、公共事業を増やして民間企業の仕事(雇用)を増やしたり、企業や家計の消費をうながす目的で減税をしたりする。好景気(好況)のときはその逆を行う。

- (エ) (i) 2020年度の歳入のうち直接税は、所得税(19.0%)、法人税(11.8%)、相続税(2.3%)である。よって、直接税の金額は、 $102.7兆円 \times 0.331 = 33.9937$ という計算より、約34兆円となる。1990年度の歳出と2020年度の歳出を比べたとき、最も金額が増えた項目は社会保障関係費である。社会保障関係費とは、医療や年金、福祉、介護、生活保護などへの支出である。
- (ii) 税金は、国民の間で公平に負担されなくてはならないという原則がある。このため、所得税や相続税には、所得が多くなるほど高い税率を適用する累進課税の方法がとられている。

問3 経済・国際社会をテーマにした基本問題(p.64~p.65)

解答

- (ア) 2
 (イ) 1980年のチラン 資料 I
 あ 性別による給与の差
 (ウ) 1 (エ) (i) 3 (ii) 2
 (オ) 4

解説

- (ア) a は、家計から企業と政府に矢印がのびているので、あてはまるのは労働力である。b は、政府から家計と企業に矢印がのびているので、あてはまるのは社会資本である。代金は、家計から企業、政府から企業にのびる矢印にあてはまる。税金は、家計から政府、企業から政府にのびる矢印にあてはまる。
- (イ) 1985年に制定された男女雇用機会均等法により、合理的な理由なしに募集・採用の対象から男女のいずれかを排除することや、同じ職種で男女の給与に差を設けること、年齢制限を設けることなどが禁止されている。
- (ウ) 日本において、中小企業は、全事業所数の約99%、全従業員数の約7～8割、総出荷額の約5割を占めている。中小企業の中には、大企業ではまねのできないような高度な技術をもつところもある。
- ベンチャー企業とは、高度な、あるいは独自の技術や知識を用いて、新たな事業を展開する企業のことである。情報通信技術(ICT)の発達により、情報通信分野での展開が多く見られる。
- (エ) (i) 1ドル=100円が1ドル=110円になるように、外国の通貨に対して円の価値が低くなることを円安という。例えば、日本からアメリカ合衆国に10万円の製品を輸出する場合、1ドル=100円のときにはアメリカ国内での製品価格が1000ドルであったものが、1ドル=110円になると、アメリカ国内での製品価格が約909ドルと安くなるため、一般的に売れ行きがよくなる。よって、円安になると、日本国内の輸出企業にとっては有利になる。

補足

円安のときには、日本国内の輸入業者が海外から買い付けを行う場合や、日本から海外に旅行する場合に、一般的に不利となる。外国の通貨に対して円の価値が高くなる円高のときは、その逆になる。

- (ii) 図Ⅱ中のYの国々はいずれも、日本より人口が多く、労働賃金が安くなっている。このことから、Yの国々に生産・販売拠点を置くと、日本より生産コストを抑えて製造できること、日本と比べて市場規模が大きいため販売数が増加することが見込まれる。
- (オ) 図Ⅲで示した2つの配送方法を比較すると、以下のよう配送方法が変化したことがわかる。
- ・かつては、各社がそれぞれ販売店・問屋にトラックで配送していた。
 - ・現在は、他社製品とあわせて配送センターに製品を集約し、配送センターから各販売店・問屋に、トラックで一括して配送している。
- 配送方法を変えたことでトラックの使用量が減り、その結果、排気ガスに含まれる二酸化炭素の排出量を減らすことができる。これは、地球温暖化の進行を抑えることにつながるため、地球環境に配慮した取り組みになっている。

問4 政府の役割をテーマにした応用問題(p.66~p.67)

解答

- (ア) (i) 6 (ii) 4 (イ) 1
 (ウ) (i) 3
 (ii) お 2 か 6 き 8

解説

- (ア) (i) 価格がP1のときの需要量はQ1、供給量はQ2であり、 $Q1 < Q2$ の関係となっている。よって、価格がP1のときは供給量が需要量を上回っている。このときの売れ残りの量は $Q2 - Q1$ であらわされ、P2で示した均衡価格まで価格が下がる。
- (ii) 1. 農作物や魚介類などは、市場の需要量と供給量の関係で価格が変動しやすいが、貯蔵ができる工業製品の場合は価格が変動しにくい。2. ガソリンの価格は公共料金には含まれない。3. 市場において、ある製品を供給する企業が少数である状態を寡占といい、これらの企業が決めた価格を寡占価格という。均衡価格とは、市場価格のうち、需要量と供給量が一致する価格のことである。

補足

市場において商品を供給する企業が1社だけである状態を独占という。独占や寡占になると価格競争が弱まり、消費者が不利益を被る場合があるため、独占禁止法を定めて競争をうながしている。

- (イ) かつての日本は、同じ企業で定年まで勤めあげる終身雇用が一般的で、年齢とともに賃金が増える年功序列の賃金体系を採用する企業が多かった。現在では、仕事の成果に応じて賃金を支払う能力主義や成果主義を採用する企業が増えている。
- (ウ) (i) 社会福祉とは、働くことが困難で社会的に弱い立場である高齢者や障がい者、児童などに対して、生活の保障や支援のサービスをすることである。資料Ⅰ中の「子ども食堂」の例は児童福祉の観点から、「身体に障がいがある人への補助犬の支給」の例は障がい者福祉の観点から実施されている。
- 社会保険は、加入者が毎月保険料を支払い、病気になったり失業したりしたときに給付を受けるしくみである。公的扶助は、生活に困っている人々に対して、生活保護法にもとづいて生活費や教育費などを支給するしくみである。公衆衛生は、環境衛生の改善や感染症の予防などにより、人々が健康で安全な生活を送れるようにするしくみである。
- (ii) 資料Ⅱから、公的年金制度は、現在働いている現役世代(グラフⅠ中の生産年齢人口)が支払う保険料を主な財源とし、現在の高齢者(グラフⅠ中の老年人口)への支給をまかなっていることがわかる。グラフⅠから、生産年齢人口が減少傾向である一方で、年金の給付を受ける老年人口が増加傾向であることが読み取れる。グラフⅡで示されているように、1987年以降、年金給付額が増加し続けていることをあわせて考えると、現在から将来にかけての生産年齢人口にかかる負担が非常に大きくなるといえる。

問5 国際社会をテーマにした応用問題(p.68~p.69)

解答

- (ア) (i) 2 (ii) 3
 (イ) あ テロリズム(テロ) い A
 (ウ) う 低く
 え 有償資金協力の割合が高い
 (エ) 4

解説

(ア) (i) 1. 国際連合の本部は、アメリカ合衆国のニューヨークに置かれている。3. 安全保障理事会で拒否権が認められているのは、常任理事国であるアメリカ合衆国、イギリス、フランス、ロシア連邦、中華人民共和国(中国)の5か国である。4. 国連分担金の比率が最も高いのはアメリカ合衆国である。

(ii) aは、常任理事国があることと、1980年と1992年の間に加盟国数が大きく増えていることから、ヨーロッパ州であると判断できる。1980年と1992年の間に加盟国数が増えた要因は、1991年のソ連崩壊に伴い独立した国々が国際連合に加盟したためである。cは、常任理事国がないことと、1945年と1960年の間に加盟国数が大きく増えていることから、アフリカ州であると判断できる。1960年は「アフリカの年」と呼ばれ、アフリカ州で多くの国が独立した。それらの国々が国際連合に加盟したことで、加盟国が増えた。bは南北アメリカ州、dはアジア州があてはまる。

(イ) テロリズムは、近年、世界各地でおこっている。2001年9月11日には、アメリカ合衆国で同時多発テロが発生した。地域紛争やテロリズムに対して、国連を中心に防ぐ努力が続けられている。

UNHCRは、国連難民高等弁務官事務所の略称で、難民の生活を改善したり、帰郷や帰郷後の生活を支援したりする活動を行っている。BのUNICEFは国連児童基金の略称で、世界の子どもの命と健康を守るために活動する機関である。CのUNESCOは国連教育科学文化機関の略称で、教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の推進を目的とし、世界遺産の登録も行っている。DのUNCTADは国連貿易開発会議の略称で、貿易と開発に関する発展途上国の問題を協議するための機関である。

(ウ) グラフIから、日本はイギリスと比べて、国民総所得に対するODAの割合が低いことが読み取れる。グラフIIで、資金贈与(=無償資金協力)と技術協力が無償の贈与にあたり、借款(政府貸付)が有償資金協力にあたる。イギリスは無償の贈与の割合が高いのに対し、日本は有償資金協力の割合が高いことが読み取れる。日本は、近年、政府開発援助(ODA)による開発協力の目的に、国際貢献に加えて、国益の確保に貢献することを追加し、ODAを戦略的に活用する方針を打ち出している。

(エ) 第二次世界大戦終結後まもなく始まった冷戦(冷たい戦争)の間は、アメリカ合衆国とソ連が核開発競争を繰り広げていた。このため、この2国が膨大な数の核兵器を保有しており、世界の核兵器数も非常に多かった。冷戦が終結する1989年前後から、アメリカ合衆国とソ連両国で核軍縮を進める動きが強まり、冷戦後に両国の核兵器数は大幅に減少した。しかし、パキスタンや北朝鮮など、冷戦期には核兵器を保有していなかった国が新たに核兵器を保有するようになったため、現在は核兵器の拡散が進んでいる。

補足

第二次世界大戦終結後の核や軍縮をめぐる世界の動き

1954年	日本の第五福竜丸が太平洋で被曝
1955年	第1回原水爆禁止世界大会(広島市)
1963年	部分的核実験停止条約(PTBT)採択
1968年	核拡散防止条約(NPT)採択
1987年	米ソ、中距離核戦力(INF)全廃条約調印
1991年	米ソ、戦略兵器削減条約(SSTART)調印
1996年	包括的核実験禁止条約(CTBT)採択
1997年	対人地雷全面禁止条約採択
1998年	インドとパキスタンが核実験
2010年	米ロ、新戦略兵器削減条約(新START)調印
2017年	核兵器禁止条約採択

問1 地形図(p.70)

解答

- (1) 建物 1 方位 6 (2) 1 (3) 4

解説

- (1) 地図では、方位記号や特にことわりがない限り、上が北をさす。16方位と主な地図記号について、下の図を見て、確認しておこう。

土地利用		建物・施設	
田	畑	市役所 東京都の区役所	病院
果樹園	桑畑	町・村役場 (指定都市の区役所)	老人ホーム
茶畑	広葉樹林	官公署	神社
針葉樹林	竹林	警察署	寺院
荒地		消防署	図書館
		保健所	博物館・美術館
		郵便局	記念碑
		工場	城跡
		発電所・変電所	史跡・名勝・天然記念物
		文小・中学校	三角点
		高等学校	水準点
			灯台

- (2) 資料館の近くに「43」、交流センターの近くに「35」という数字が記されていることに注目する。これらの数字は土地の標高を示している。
- (3) 等高線の様子から、山の形がどのようなになっているかを判断する。等高線の間隔が狭いほど土地の傾きは急であり、等高線の間隔が広いほど土地の傾きはゆるやかである。また、等高線が、山の頂上から見て外側に出ていところが尾根、等高線が、山の頂上から見て内側にくぼんでいるところが谷をあらわす。尾根はまわりより高いところで、谷はまわりより低いところである。

問2 地形図(p.71)

解答

- (1) 3 (2) 2
-
- (3) え 40 お 高い

解説

- (1) う この地形図は、縮尺が2万5千分の1であるので、地形図上で9.5cmの長さの直線の実際の距離は、以下のように求めることができる。
- $$9.5\text{cm} \times 25000 = 237500\text{cm}$$
- $$= 2375\text{m}$$
- (2) 地形図の⑦→⑧の4つの地点について、川の形状、川原の位置と大きさ、橋の有無、遠くに見える山すそをそれぞれ比べながら、総合的に判断する。
- (3) 縮尺が2万5千分の1の地形図では、等高線は10mおきに引かれている。地形図中にYで示した地点の標高は170m、Zで示した地点の標高は130mである。

補足

地形図の等高線は、縮尺によって以下のように引かれている。

- ・ 2万5千分の1…10mおき。太い計曲線は50mおき。
- ・ 5万分の1…20mおき。太い計曲線は100mおき。

問3 地形図(p.72)

解答

- (1) 1, 2 (2) 1 (3) 4

解説

- (1) 3. 虚空蔵山の山頂は、三角点の数字より1076.9mである。地形図にBで示した地点の標高は、南に位置する城山の山頂にある三角点の数字と等高線から、820mである。よって、虚空蔵山の山頂は、Bで示した地点の標高より約260m高いことになる。
4. 上田城跡の北側には、警察署と病院をあらわす地図記号は見られるが、市役所をあらわす地図記号は見られない。
5. この地形図は、縮尺が5万分の1であるので、地形図上で6cmの長さの直線の実際の距離は、以下のようを求めることができる。
- $$6\text{cm} \times 50000 = 300000\text{cm}$$
- $$= 3000\text{m}$$
- $$= 3\text{km}$$
- (2) X側の山とY側の山を比べると、X側の山の方が標高が高くなっている。また、X側の山の方がY側の山よりも傾きが急である。2つの山の間を川が流れており、その部分の標高は低くなっている。
- (3) 高等学校をあらわす地図記号より、にしうえだ駅から、線路の南側に出ると判断できる。

問4 地形図(p.73)

解答

- (1) 2, 4 (2) 90000[m
- ²
-]
-
- (3) 3 (4) 2

解説

- (1) 1. 古い地形図では、左下に線路(JR線以外)が斜めに通っているが、その場所は、新しい地形図では道路になっている。
3. 古い地形図に比べて、新しい地形図では、水田と畑をあらわす地図記号が増えている。田畑が増えたのは、揚水機場や導水機場が新しく建設され、灌漑施設の整備や開拓が進んだためと考えられる。
5. 古い地形図には「愛宕山古墳」の文字はないが、新しい地形図と同じ位置に神社をあらわす地図記号が見られる。
- (2) 新旧の地形図は、縮尺が2万5千分の1であるので、地形図上で1.2cmの長さの直線の実際の距離は、以下のように求めることができる。
- $$1.2\text{cm} \times 25000 = 30000\text{cm}$$
- $$= 300\text{m}$$
- このことから、問題の正方形は、実際の一辺の長さが300mとなるので、その面積は、以下のように求めることができる。
- $$300\text{m} \times 300\text{m} = 90000\text{m}^2$$
- (3) Oで示した範囲の右上に、等高線が3本見られる。これらの等高線の間隔が狭いことから、この辺りは、急に土地が高くなっていることが読み取れる。
- (4) 川の流域で、特に川が大きく曲がっているところの内側の地域が警戒区域となっていることから、川の氾濫などによる洪水を想定したものと判断できる。

問1 時差の計算(p.74)

解答

- (1) 1〔月〕22〔日〕午前11〔時〕
- (2) 2〔月〕3〔日〕午後9〔時〕
- (3) 東経60〔度〕
- (4) 経度差 165〔度〕
リマの経度 西経75〔度〕
- (5) 3〔月〕2〔日〕午後4〔時〕
- (6) 西経120〔度〕
- (7) 15〔時間〕

解説

時差について、下のまとめで整理しておこう。

まとめ

- ・地球は、1日(24時間)で1回転(360度)しているため、 $360\text{度} \div 24\text{時間} = 15\text{度}$ という計算より、経度15度ごとに1時間の時差が生じる。
- ・日本は、東経135度の経線を標準時子午線(標準時の基準となる経線)としている。東経135度の経線は、兵庫県明石市を通る。
- ・日付変更線は、経度180度の経線にほぼ沿って引かれている。日付変更線のすぐ西側は時刻が最も早く、東側は時刻が最も遅い地域となる。

- (1) 日本とバンコクの経度差から時差を求める。バンコクの標準時子午線の経度は東経105度であるので、 $135\text{度} - 105\text{度} = 30\text{度} \cdots \text{経度差}$
 $30\text{度} \div 15\text{度} = 2\text{時間} \cdots \text{時差}$
という計算より、時差は2時間と求められる。
日本から見てバンコクは西に位置しているため、バンコクは、日本より2時間遅い時刻になる。
- (2) 日本とアンカラの経度差から時差を求める。 $135\text{度} - 45\text{度} = 90\text{度} \cdots \text{経度差}$
 $90\text{度} \div 15\text{度} = 6\text{時間} \cdots \text{時差}$
日本から見てアンカラは西に位置しているため、日本は、アンカラより6時間進んだ時刻になる。
- (3) マスカットと日本の時差から経度差を求める。2地点の時差は5時間であり、経度15度ごとに1時間の時差が生じることから、 $15\text{度} \times 5\text{時間} = 75\text{度} \cdots \text{経度差}$
という計算より、経度差は75度と求められる。
マスカットの時刻は日本の時刻より遅いことから、日付変更線から見て、マスカットは、日本より西に位置していることになる。よって、マスカットの標準時子午線の経度は、日本の標準時子午線の経度を基準に、 $135\text{度} - 75\text{度} = 60\text{度}$
という計算より、東経60度と求められる。
- (4) アスタナとリマの時差から経度差を求める。2地点の時差は11時間であることから、 $15\text{度} \times 11\text{時間} = 165\text{度} \cdots \text{経度差}$
という計算より、経度差は165度と求められる。
アスタナの方がリマより時刻が早く、アスタナの標準時子午線の経度は東経90度であることから、リマの標準時子午線の経度は、 $165\text{度} - 90\text{度} = 75\text{度}$

という計算より、経度0度の本初子午線を越えて、西経75度と求められる。

- (5) ローマの空港を出発して成田国際空港に到着したのは、ローマの時間で、13時間後の3月2日午前8時である。日本とローマの経度差から時差を求めると、

$$135\text{度} - 15\text{度} = 120\text{度} \cdots \text{経度差}$$

$$120\text{度} \div 15\text{度} = 8\text{時間} \cdots \text{時差}$$

という計算より、時差は8時間となる。

ローマから見て日本は東に位置しているため、日本は、ローマより8時間進んだ時刻になる。よって、ローマの現地時間で3月2日午前8時は、日本時間では、8時間後の3月2日午後4時となる。

- (6) 成田国際空港を出発してバンクーバーの空港に到着したのは、日本時間で、9時間後の1月14日午前3時である。日本時間の1月14日午前3時が、バンクーバーの時間の1月13日午前10時にあたるので、2地点の時差は17時間となる。時差から経度差を求めると、

$$15\text{度} \times 17\text{時間} = 255\text{度} \cdots \text{経度差}$$

という計算より、経度差は255度となる。

日本の方がバンクーバーより時刻が早く、日本の標準時子午線の経度は東経135度であることから、バンクーバーの標準時子午線の経度は、

$$255\text{度} - 135\text{度} = 120\text{度}$$

という計算より、経度0度の本初子午線を越えて、西経120度と求められる。

- (7) ヒューストンと北京の経度差から時差を求める。ヒューストンが西経、北京が東経であることから、

$$90\text{度} + 120\text{度} = 210\text{度} \cdots \text{経度差}$$

$$210\text{度} \div 15\text{度} = 14\text{時間} \cdots \text{時差}$$

という計算より、時差は14時間となる。

北京の方がヒューストンより時刻が早いので、北京の空港に到着したのは、ヒューストンの時間で、14時間前の2月11日午後1時である。

よって、ヒューストンの時間で、航空機は、2月10日午後10時に出発し、2月11日午後1時に到着したことになる。飛行時間は15時間と求められる。

問2 地図を用いた時差の計算(p.75)

解答

- (1) 4
- (2) 13〔時間〕
- (3) 4〔月〕20〔日〕午前10〔時〕
- (4) 8〔月〕26〔日〕午後7〔時〕50〔分〕

解説

- (1) 東経90度の経線上に位置するA地点と、求める地点の時間を比べると、A地点の方が時刻が進んでおり、時差は10時間である。よって、求める地点は、日付変更線から見て、A地点よりも西に位置しており、経度差は、 $15\text{度} \times 10\text{時間} = 150\text{度}$ の地点になる。これにあてはまるのは、西経60度の経線上に位置するⅣ地点である。

各地点の経度と現地時間は、

Ⅰ地点…東経60度、10月10日午前4時

Ⅱ地点…経度180度、10月10日12時(正午)

Ⅲ地点…西経120度、10月9日午後4時

となる。

- (2) 複数の標準時が関係する問題では、どれか1つの標準時にしぼって考えると解きやすくなる。ここでは日本時間に統一して考えてみる。

まず、日本とリオデジャネイロの経度差から、時差と、リオデジャネイロの空港に到着したときの日本時間を求

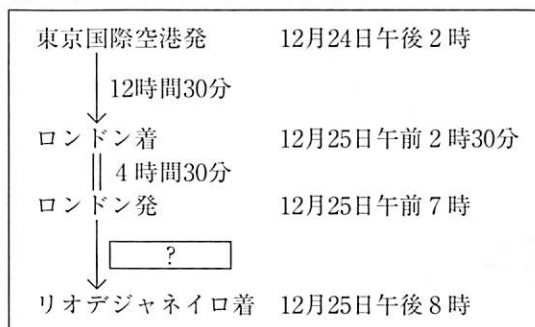
める。リオデジャネイロの標準時子午線の経度は、略地図のBの経線(西経60度)から15度引いたものである、西経45度である。よって、

$$135\text{度} + 45\text{度} = 180\text{度} \cdots \text{経度差}$$

$$180\text{度} \div 15\text{度} = 12\text{時間} \cdots \text{時差}$$

という計算より、時差は12時間と求められ、リオデジャネイロの空港に到着したのは、日本時間で、12時間後の12月25日午後8時である。

これをふまえて、Kさんが東京国際空港を出発してからリオデジャネイロの空港に到着するまでを、日本時間で図にあらわすと、次のようになる。



これより、日本時間で、ロンドンを12月25日午前7時に出発し、リオデジャネイロに12月25日午後8時に到着したことになり、かかった時間は13時間と求められる。

- (3) 東京国際空港からホノルルまで、航空機で8時間かかることから、Kさんの腕時計が指していた21日の5時は、4月21日午前5時である。

ホノルルの標準時子午線は、略地図のCの経線である、西経150度である。よって、

$$135\text{度} + 150\text{度} = 285\text{度} \cdots \text{経度差}$$

$$285\text{度} \div 15\text{度} = 19\text{時間} \cdots \text{時差}$$

という計算より、日本とホノルルの時差は19時間と求められる。日付変更線から見て、ホノルルは、日本より西に位置しているので、ホノルルは、日本より19時間遅い時刻になる。

- (4) ヨハネスバーグの空港を出発したのは、シドニーの時間で、シドニーの空港に到着する11時間40分前の8月27日午前3時50分である。

ヨハネスバーグの標準時子午線は、略地図のDの経線であるので東経30度、シドニーの標準時子午線は、略地図のEの経線であるので東経150度である。よって、

$$150\text{度} - 30\text{度} = 120\text{度} \cdots \text{経度差}$$

$$120\text{度} \div 15\text{度} = 8\text{時間} \cdots \text{時差}$$

という計算より、ヨハネスバーグとシドニーの時差は8時間と求められる。日付変更線から見て、ヨハネスバーグは、シドニーより西に位置しているので、ヨハネスバーグは、シドニーより8時間遅い時刻になる。

これより、ヨハネスバーグの空港を出発したのは、ヨハネスバーグの時間で、8月27日午前3時50分(シドニー時間)の8時間前の8月26日午後7時50分となる。

問1 エネルギーに関する地理の問題(p.76)

解答

- (1) 4 (2) 1
(3) 4

解説

(1) 西アジアを含む地域から日本への石油の輸出量は319万バレル/日である。アフリカ州から各地域・国への石油の総輸出量は、 $105 + 286 + 44 + 31 = 466$ という計算より、466万バレル/日である。

アメリカ合衆国は、ヨーロッパ州の大部分を含む[斜線]で示した地域に対して、輸出が78、輸入が51である。南アメリカ州を含む[点線]で示した地域に対しては、輸出が151、輸入が178である。

(2) 表の電源のうち、石炭、石油、天然ガスをあわせたものが火力発電になる。Aは、火力発電が大部分を占め、原子力発電が非常に少ないことから日本にあてはまる。Bは、4か国の中で発電電力量が最も多いこと、内訳では、火力発電が最も多く、その中でも石炭が多くを占めていることから中華人民共和国(中国)があてはまる。Cは、火力発電が最も多く半分以上を占めているが、原子力発電もそれなりにあることからアメリカ合衆国があてはまる。Dは、原子力発電が最も多いことからフランスがあてはまる。

う 発電電力量に占める天然ガスの割合が最も高いものは、表中のAであることから、日本である。

お 火力発電の石炭、石油、天然ガスの3つの電源の中で石炭の割合が最も高いのは、B(中華人民共和国(中国))の1か国である。

補足

日本は、2011年におきた東日本大震災に伴う原子力発電所の事故の影響によって、全国の原子力発電所が一旦停止したため、これ以降、原子力発電の発電量が非常に少なくなっている。

(3) 1. 各発電量の合計に、その国の割合を100で割ったものをかけることで、その国の発電量を求めることができる。アメリカ合衆国は、風力発電、太陽光発電、地熱発電の順番に発電量が多くなっている。2. 地熱発電の上位5か国には、ヨーロッパの国が含まれていない。3. 風力発電と地熱発電のグラフに日本は見られないが、日本の太陽光発電の発電量は、風力発電と地熱発電の各グラフに載っている国の中で最も割合の少ない国のそれぞれの発電量より多いことから、日本は太陽光の発電量が最も多いことがわかる。

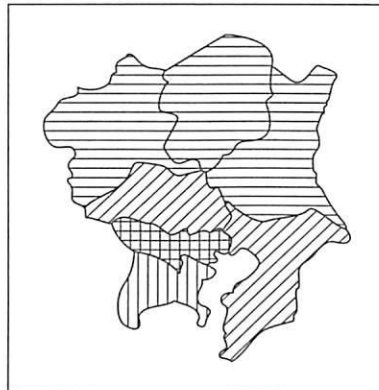
補足

環境への配慮や、資源には限りがあることから、近年は再生可能エネルギーの利用が注目されている。再生可能エネルギーは、自然環境に依存するものが多く、風力発電や地熱発電、太陽光発電、水力発電などが含まれる。風力発電は中華人民共和国(中国)やヨーロッパの国々で発電量が多く、地熱発電は火山の熱を利用することから、造山帯付近に発電所が多く建てられている。

問2 人口に関する地理の問題(p.77)

解答

- (1) あ 2 い 4 う 6
(2) 1950年 1 2015年 2 2050年 3
(3)



解説

(1) あ 略地図から、ビール工場は、消費者が集中する大きな都市の近くに建てられていることがわかる。

い 略地図から、愛知県や関東地方に自動車工場が集中していることがわかる。自動車工業では、大企業を中心に、周辺に組み立て工場などの関連工場が集まっており、企業城下町を形成しているところも見られる。

う 略地図から、半導体工場は臨海部だけではなく、内陸部にも分布していることがわかる。半導体は軽くて単価が高いため、高速道路や飛行機を使って輸送しても採算がとれることから、近年は高速道路沿いや空港の近くに工場が進出している。

(2) 1950年の中華人民共和国(中国)は、経済が発展し始めたところで、1の多産多死型をあらわす富士山型の人口ピラミッドだった。経済発展をとげた2015年は、出生率と死亡率が下がったことで、年少人口と老年人口の差が富士山型よりも小さくなる2の釣鐘型の人口ピラミッドになった。中華人民共和国(中国)では、2015年まで30年以上にわたって一人っ子政策が実施されてきたこともあり、今後このまま出生率と死亡率の低下が続けば、年少人口が少なく老年人口が多い3のつぼ型の人口ピラミッドになると推定されている。

(3) 昼夜間人口比率は、 $\text{昼間人口} \div \text{夜間人口} \times 100$ で求められる。関東地方の各都県の昼夜間人口比率は以下のようになる。

茨城県……97.5%	千葉県……89.7%
栃木県……99.0%	東京都……117.8%
群馬県……99.8%	神奈川県……91.2%
埼玉県……88.8%	

東京都は、学校や会社が多く、通学や通勤のために周辺の県から東京都に移動する人が多いため、昼間人口の方が夜間人口(常住人口)より多く、昼夜間人口比率は100%を上回る。反対に、東京都周辺の千葉県、神奈川県、埼玉県は、昼間人口より夜間人口(常住人口)の方が多く、昼夜間人口比率は100%を下回る。

この現象は、大阪府や愛知県などでも見られる。

問3 歴史の問題(p.78~p.79)

解答

- (1) 2 (2) 6 (3) 琉球王国
 (4) A 4 B 3
 (5) 3 (6) 1
 (7) あ 衆議院第一党 い 立憲政友会

解説

(1) 大和政権(ヤマト王権)は、奈良盆地を中心とする近畿地方の豪族の連合政権であり、大王と呼ばれる指導者によって統率されていた。図より、大阪府や奈良県をはじめとする近畿地方に巨大な古墳が多いことが読み取れる。また、全国的に古墳が多くつくられたのは前期・中期で、後期以降には数が減り、前方後円墳のような大型の古墳もほとんど見られなくなることがわかる。

(2) あ 資料の相続人の欄を見ると、男子の相続人が多いなか、「女子犬御前分」「女子美濃局分」という二人の女子の名前があるのがわかる。鎌倉時代は分割相続が一般的で、女子にも相続が認められていた。

い・う 資料の相続分の欄を見ると、主に地頭職が与えられている。地頭は、鎌倉時代に、荘園ごとに置かれて年貢の取り立てなどにあたった役職である。また、資料の下半分の図を見ると、豊後国大野荘の土地を7人で分けて相続したことが読み取れる。「町」や「反」は土地の面積をあらわす単位である。これらより、豊後国大野荘を7人で分け、それぞれの土地の地頭となったことがわかる。

補足

鎌倉時代は、土地の分割相続が行われていたため、御家人一人あたりの領地は小さくなり、生活は苦しくなっていた。13世紀後半におこった元寇では、手柄を立てた御家人が、恩賞として領地を与えられることを期待したが、元に対する防衛戦で日本が新たな領地を獲得したわけではなかったために、十分な恩賞が与えられず、幕府への不満が高まっていた。

(3) 資料の「中国を支柱に日本とも親密な関係にある」という部分から、明(中国)と朝貢貿易を行い、日本とも貿易を行った琉球王国と判断できる。後半の「船を操って世界の架け橋となり、」という部分は、琉球王国が日本や中国、朝鮮半島、東南アジアの間にあって中継貿易を行っていたことを示している。

(4) A アメリカ大陸に進出したヨーロッパ人は、鉱山や農園を開発した。そこで先住の人々や奴隷を働かせて、銀や砂糖(農園で栽培されたさとうきびからつくられた)をヨーロッパに輸出した。

B アメリカ大陸では、厳しい労働や病気のために先住の人々が減少した。そのため、ヨーロッパ人は、アフリカの人々を奴隷としてアメリカ大陸に連れていき、労働力として利用した。

(5) 江戸幕府5代将軍徳川綱吉は、身分秩序を重視する朱子学を奨励した。3. 資料Iの1つ目の一に「届け出る必要はない」という部分が2か所あることに注意する。この部分は、手続きよりも捨て子を助けることを優先させるという考えで書かれたものである。

(6) あ 明治時代に、日本が外国に勝利した戦争は、日清戦争と日露戦争の2つである。資料の「どれほどアジアの諸国民を喜ばせ、こおどきさせたか」という記述から、当時、アジアでは欧米列強の植民地となっていた国が多かったため、世界有数の強国であるロシアを破

りそれらの国々に希望を与えることとなった日露戦争のことをさしていると判断できる。

い 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で、韓国における優越権を得た日本は、韓国への圧力を強化していった。1905年に韓国を保護国にし、1910年には韓国併合を行った。

(7) 政党内閣とは、議会で多数を占める政党が内閣を組織し、内閣総理大臣は多数派政党から選ばれ、多くの閣僚も多数派政党の党員が就く内閣のことである。

原敬は、米騒動で退陣した寺内正毅内閣に代わって、内閣を組織した。当時、原敬は、衆議院第一党の立憲政友会の総裁であった。また、陸軍・海軍・外務の3大臣以外立憲政友会の党員で組織し、日本初の本格的政党内閣を成立させた。原敬は、それまでの内閣総理大臣とは異なり、華族出身ではなく、衆議院議員選挙選出の議員であったため、平民宰相と呼ばれ、国民から人気があった。

補足

米騒動は、シベリア出兵を見こした商人らによる米の買い占めによって米価が急上昇したことから、米の安売りを求めておこった全国的な暴動である。1918年に富山県の漁村からおこった。米騒動で退陣した寺内内閣は、藩閥政府であった。

問4 公民の問題(p.80~p.81)

解答

- (1) 3 (2) 3 (3) あ 4.8 い 1.4
 (4) A党 3〔議席〕 B党 3〔議席〕
 C党 1〔議席〕 D党 0〔議席〕
 (5) 2 (6) 3 (7) 1
 (8) あ APEC い ASEAN
 (9) 3

解説

(1) あ A議院では候補者Lを指名したにもかかわらず、B議院が指名した候補者Kが、最終的に内閣総理大臣に指名されたことから、B議院が衆議院、A議院が参議院であると判断できる。内閣総理大臣の指名においては、衆議院の優越が適用され、衆議院と参議院の議決が異なり、両院協議会でも意見が一致しないときは、衆議院の議決が国会の議決となる。

い 内閣総理大臣の指名投票では、過半数の票を獲得した候補者がいなかった場合には、上位2名による決選投票が行われる。

(2) 憲法改正の発議について、日本国憲法第96条は「この憲法の改正は、各議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。」と定めている。

各議院の総議員数は、衆議院が465人、参議院が248人である。このことから、衆議院は310人以上、参議院は166人以上の賛成が必要となる。表では、与党はA党とC党であるので、この2党の議員数の合計が、各議院の賛成必要数に達しているかどうかを考える。

(3) 議員一人あたりの有権者数の格差に関する問題である。議員一人あたりの有権者数を求めるには、各選挙区の有権者数を議席数で割る。議員一人あたりの有権者数は、北海道選挙区は $4598957 \div 4$ という計算より1149739.25人、鳥取選挙区は $482192 \div 2$ という計算より241096人と求められる。よって、この2つの選挙区の議員一人あたりの有権者数には、 $1149739.25 \div 241096 = 4.7688 \dots$ とい

う計算より、約4.8倍の格差があることになる。

資料Ⅱの改正後では、北海道選挙区は、議席数が6に増えるので、議員一人あたりの有権者数は $4598957 \div 6 = 766492.8333$ 人、鳥取・島根選挙区は、鳥取選挙区と島根選挙区が合区になり議席数が2に減るので、議員一人あたりの有権者数は $(482192 + 587809) \div 2 = 535000.5$ 人となる。よって、この2つの選挙区の議員一人あたりの有権者数には、 $766492.8333 \div 535000.5 = 1.432695\cdots$ という計算より、約1.4倍の格差があることになる。したがって、改正後は、議員一人あたりの有権者数の格差がかなり抑えられることになる。

- (4) ドント式による計算方法は、各政党の得票数を1、2、3…の整数で割っていき、得られる商の大きい順に、定数まで各政党に議席を配分するというものである。この方法で計算を行うと、次の表のようになる。商は大きい順に①～⑦となり、7議席のうち、A党・B党に各3議席、C党に1議席、D党に0議席が配分される。

政党		A党	B党	C党	D党
得票数		600	480	240	150
商	$\div 1$	①600	②480	④240	150
	$\div 2$	③300	④240	120	75
	$\div 3$	⑥200	⑦160	80	50
議席数		3議席	3議席	1議席	0議席

補足

日本の選挙では、衆議院議員選挙と参議院議員選挙で、比例代表制がとり入れられている。衆議院の選挙では、全国を11のブロックに分けて行い、参議院の選挙では、全国を一つの単位として行う。

- (5) 資料ⅠのAは、人口が多い東京都の割合が高く、沖縄県と鳥取県の割合が低いことから地方税があてはまる。地方税は、各地方公共団体の自主財源である。BとCには、国からの依存財源である地方交付税交付金と国庫支出金のいずれかがあてはまる。Bは歳入が少ない都県ほど割合が高くなっていることから、地方公共団体間の財政格差を抑えることを目的とする地方交付税交付金と判断できる。Cには、残る国庫支出金があてはまり、これは特定の用途について国が支払う補助金であるため、地方公共団体によってばらつきが見られる。

資料Ⅱのaは、割合が増加し続けていることから、民生費と判断できる。民生費は福祉関連費用をさし、少子高齢化の進行やバリアフリー化などのために支出が増えている。cは、1976年度に比べて1996年度と2016年度の割合が高くなっていることから公債費があてはまり、残るbには土木費があてはまる。

- (6) 累進課税とは、所得が多い人ほど税率が高くなるしくみのことである。3は、所得400万円の人の税率は10%、所得800万円の人の税率は15%、所得1200万円の人の税率は20%となっているので、累進課税が適用されている。1. 所得にかかわらず税額が一定であるので、所得が低い人ほど税率が高くなっている。2. 税率が所得の10%と、全ての所得で一定である。4. 所得が多い人ほど税額が少ないので、税率も低くなっている。
- (7) 資料では、右にいくほど100人あたり自動車保有台数が多くなり、上にいくほど一人あたりGNIが高くなる。これより、日本より一人あたりGNIが高く、自動車保有率が高い国は、日本よりも右上に位置するアメリカ合衆国、オーストラリア、カナダの3か国となる。また、資

料では各国が左下から右上に分布している。そのため、一人あたりGNIが高くなると、自動車保有率が高くなる傾向が読み取れる。

- (8) **あ**のグループには、東南アジアの国々と、アメリカ合衆国、オーストラリア、中華人民共和国(中国)、ペルー、日本などの国が含まれている。これより、アジアや太平洋に面している国々が集まったアジア太平洋経済協力(APEC)であることがわかる。**い**のグループは、東南アジアの国々のみが含まれることから、東南アジア諸国連合(ASEAN)であることがわかる。USMCAは、米国・メキシコ・カナダ協定の略称である。
- (9) 3. 2050年の生産年齢人口比率が最も高くなると予想されるアメリカ合衆国やオーストラリアでも、生産年齢人口比率は60%程度であるので正しい。1. 韓国は、2000年には生産年齢人口比率が最も高い国であるが、2050年には、3番目に低い国になると予想されている。2. 2025年の生産年齢人口比率が、2000年より高くなると予想される国は、中国のみである。4. 2000年の時点では、日本の生産年齢人口比率はフィンランドの生産年齢人口比率よりも高くなっている。

問1 地理の問題(p.82~p.83)

解答

- (1) 建物の熱が地面の凍土をとくして建物が傾かないように、高床にして杭を深く打ちこんでいる。
- (2) 住んでいる人の所得は農村より都市の方が多いことから、農村から都市へ人口が移動し、現在は農村より都市の方が人口が多くなっている。
- (3) 植民地時代の本国の言語をそのまま公用語にしているため。
- (4) 混合農業が行われており、この農業によって生産される穀物と肉類の自給率が100%を超えている。
- (5) BとEの製造品出荷額割合が増加していることから、サンベルトの製造品出荷額割合は増加している。
- (6) 原料であるさとうきびの生産量が増加した
- (7) [大陸の川と比べて、]長さが短く、傾きが急である。
／短く川上から河口まで急な流れである。
- (8) 火山の噴出物が積み重なった地層で、水持ちが悪いから。
- (9) 発電に使用する燃料の多くを海外からの輸入に頼っているため、輸送に便利な臨海部に立地している。
- (10)あ 第一次産業の割合が減少し、第二次・第三次産業の割合が増加した
い 減少
- (11) 工業製品と比べて金額あたりの重量が大きい石油や液化ガスなどの原料の輸入が多いから。
- (12) 日本は島国で離島も多いため、他の国々に比べて、領土の面積のわりに領海・排他的経済水域の面積が広い。

解説

- (1) シベリアには、永久凍土が広がっている。建物から出る熱、タイガの森林伐採によって地面に日が当たるようになったこと、地球規模での気温の上昇などを原因として、最近では、夏に凍った地面がとけ出す地域が見られる。地面がとけると、建物が傾いたり、湿地になって植生が変わったりするなどの問題がおこる。

補足

熱帯の地域で見られる高床の住居とは、床を高くする理由が異なることに注意する。熱帯の地域では、熱を逃がし、風通しを良くして湿気を防ぐために、高床の住居にしている。

- (2) 中華人民共和国(中国)では、内陸部より沿海部の方が経済的に発展しており、都市化も進んでいる。内陸部は農村の割合が多く所得も低いから、沿海部への人口の移動が増えている。
経済特区(経済特別区)も沿海部に位置しており、中国では、沿海部と内陸部の経済格差が問題になっている。
- (3) ヨーロッパ州の国々は、アフリカ州の国々を植民地として支配する際に、自国の言語を使わせるようにした。そのため、イギリスの植民地だった国では英語、フランスの植民地だった国ではフランス語が広まり、現在でもそのまま使用している国が多く見られる。
- (4) 混合農業は、小麦やとうもろこしなどの穀物の栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を組み合わせた農業のことである。

る。ヨーロッパ中緯度地域で多く見られる。

- (5) サンベルトとは、アメリカ合衆国の北緯37度以南の地域のことをさし、先端技術産業などが発達している。図の中では、主にBとEの地域がサンベルトにあたる。

アメリカ合衆国では、北東部の五大湖周辺で古くから工業が発展してきたが、現在では、工業の中心地はサンベルトに移動している。

- (6) バイオ燃料とは、さとうきびやとうもろこしなど、主に植物からつくられる燃料である。植物を育てる過程で、二酸化炭素を吸収することから、環境にやさしいエネルギーとして注目されている。

表の農作物の中で、バイオ燃料の原料となるのはさとうきびである。

- (7) 水力発電は、水が高い所から低い所に落ちる時のエネルギーを利用して電力をおこすしくみになっている。そのため、流れ(傾き)が急な日本の川は水力発電に適している。

日本の川は、大陸の川と比べて、長さが短く流れ(傾き)が急で、流域面積が狭いという特色がある。

補足

ダムには、大きく次の3つの目的がある。

- ・大雨が降った時に川が氾濫しないように、川の水の量を調整する。
- ・生活や産業に使用するために、水をためておく。
- ・水力発電を行い、電気をつくる。

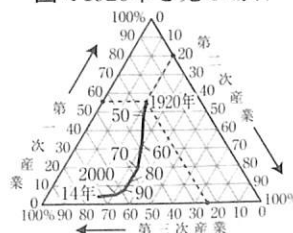
- (8) 九州南部には、火山の噴出物が堆積したシラス台地が広がっている。シラス台地は、軽石などが積み重なり、水がすぐに地中にしみこむため水持ちが悪い。そのため、大量の水を必要とする稲作には不向きである。近年は土地を改良して茶やさつまいもなどの栽培や畜産が行われている。

- (9) 火力発電は、天然ガスや石炭、石油を燃やし、その蒸気の力によって発電する。火力発電の燃料となる天然ガス、石炭、石油などの資源は、多くを輸入に頼っており、船で輸送されるため、火力発電所は、それらの輸入に便利な臨海部に建設されている。

- (10) 産業別人口構成は、図のような三角グラフであらわすことがある。このグラフは、以下のように読む。
第一次産業…左側の目盛り。底辺と平行に引いて読む。
第二次産業…右側の目盛り。左辺と平行に引いて読む。
第三次産業…下側の目盛り。右辺と平行に引いて読む。

図では、上の頂点に近づくほど第一次産業、右の頂点に近づくほど第二次産業、左の頂点に近づくほど第三次産業の割合が高くなる。

図で1920年を見る場合



- (11) 日本の貿易は、金額ベースで見ると、輸出入に大きな差はないが、重量ベースで見ると、輸入が輸出よりかなり多くなっている。資料Iで品目を見てみると、輸出額は機械類や鉄鋼などの工業製品、輸入額は石油(原油・石油製品)や液化ガスなどの原料・燃料が多くなっている。一般的に、工業製品の方が金額が高く、原料・燃料の方が金額が低く重量があることから、工業製品に比べて、原油や液化ガスなどの原料・燃料の方が、金額あたりの重量が大きくなる。
- (12) 領海は海岸線から12海里、排他的経済水域は、領海の外側の、海岸線から200海里までの水域である。島国で

離島が多い日本は、海岸線が長いので、領海と排他的経済水域の面積が広く、領土面積の10倍以上の広さとなっている。

問2 歴史の問題(p.84~p.85)

解答

- (1) 大和政権の勢力が、九州地方から関東地方(東北地方南部)まで及んでいた。
- (2) 家柄にとらわれず、有能な人材を役人に登用するため。
- (3) この木簡が、調として都に納められた綿に付けられたものであるから。
- (4) 天皇の位を譲った上皇が院政を行い、政治の実権を握っていた。
- (5) 荘園領主に加えて、地頭にも年貢を納めた。
- (6) 太閤検地によって検地帳に登録された農民に対し、土地の所有権を認める一方で年貢を課し、耕作をやめて土地から離れることを禁止した。
- (7) 図Ⅰ 問屋が農民に織機を貸し与えて製品をつくらせ買い取っている。
図Ⅱ 工場に人を集めて作業を分業している。
- (8) 参勤交代での旅費や江戸での経費に多くの出費を強いられ、藩の財政の負担となった。
- (9) あ 領事裁判権(治外法権)を認める
い 関税自主権がない
- (10) 民主主義では主権が人民にあるが、民本主義では、天皇主権の憲法のもとで一般民衆を重んじ一般民衆の政治参加を主張する。／民主主義では主権が国民にあるが、民本主義では、主権のありかに関係なく、憲法にもとづく政治の上で一般民衆の意向を重んじる。
- (11) 世界恐慌がおこりアメリカに大部分を輸出していた生糸の価格が暴落したため、養蚕・製糸がさかんな長野県はその影響で収入や雇用が激減し、新たな雇用を求め、県をあげて移民が行われたから。
- (12) 日本と国交を回復していなかったソ連が、拒否権を発動したから。

解説

- (1) 稲荷山古墳(埼玉県)からは鉄剣、江田船山古墳(熊本県)からは鉄刀が出土した。倭王武を示すと考えられている獲加多支爾大王の名が刻まれた鉄剣や鉄刀が埼玉県と熊本県から出土していることや、前方後円墳の分布から、大和政権の勢力範囲をうかがうことができる。
大和政権は、九州地方から東北地方南部までを支配していた。
- (2) 冠位十二階の制度によって、氏族ではなく個人に対して朝廷内の序列が決められるようになった。
聖徳太子は、冠位十二階の制度によって有能な人材を役人に登用し、十七条の憲法によって役人の心構えを示した。
- (3) 奈良時代の農民には、租・調・庸などさまざまな税や負担が課せられていた。その中の一つである調は、織物や地方の特産物を納める税で、都まで運んでいくことも農民の義務であった。
- (4) 当時、上皇やその住まいを院と呼んだことから、上皇が行った政治を院政と呼ぶ。
11世紀後半、藤原氏と血縁関係がうすい後三条天皇(図中の即位順1)が位につき、藤原氏の勢力は抑えられた。1086年に、白河天皇(図中の即位順2)が、幼い子に天皇の位を譲って上皇となり、院政が始まった。
院政を行っていた鳥羽上皇(図中の即位順4)の没後、

崇徳上皇(図中の即位順5)と後白河天皇(図中の即位順7)の間で政治の実権をめぐって起こったのが保元の乱(1156年)である。後白河天皇に平清盛と源義朝が味方し、天皇側が勝利した。平治の乱(1159年)で源義朝を破って台頭した平清盛は、後白河上皇の院政を助け、太政大臣となった。のちに平清盛は後白河上皇と対立し、院政を停止させた。これ以降、院政は形骸化していった。

- (5) 源頼朝が地頭を置くまでは、農民は荘園領主に年貢を納めていた。鎌倉時代以降は、荘園領主に加えて、地頭にも年貢を納めることになり、農民は二重支配を受けるようになった。荘園は、荘園領主と地頭が管理するようになり、しばしば対立した。
- (6) 資料は、農民が農業をやめることを禁止するものであり、農民という身分の固定を目的としている。
豊臣秀吉は、太閤検地と刀狩によって、兵農分離の政策を進めた。
- (7) 図Ⅰは農家、図Ⅱは工場であることに注意する。
問屋制家内工業は、商品を買集める問屋が、農民に織機やお金を前貸しして製品をつくらせ、やすく買い取る工業の形態である。図Ⅰには、農家の中で機を織る人と、繰先で値段交渉をしている人が描かれている。
工場制手工業(マニファクチュア)は、大商人や地主が工場を建設し、人を雇って分業で製品をつくる工業の形態である。図Ⅱには、工場の中に、糸繰りをする人や機を織る人など、作業ごとに行う人が描かれており、分業していることがわかる。
- (8) 参勤交代は、江戸と領地を一年おきに往復する制度である。グラフ中では、江戸と領地の往復にかかる旅費と江戸での経費が、参勤交代に関する経費にあたる。これらが、藩の支出の半分以上を占めていることを読み取る。
- (9) 日本がアメリカに領事裁判権(治外法権)を認めたことで、日本に滞在するアメリカ人の犯罪は、アメリカの領事が裁くことになった。また、日本に関税自主権がなかったことで、輸出入品にかかる関税を日本が決められず、国内での日本産の商品の売れ行きに影響が出た。
日本は、日米修好通商条約と同じ内容の不平等条約を、イギリス、フランス、オランダ、ロシアとも結んだ。
- (10) 資料では、民主主義を危険な学説としている。これは民主主義が人民主権をあらわし、天皇主権を定めた大日本帝国憲法に反するためである。吉野作造は、憲法にもとづく政治で基礎となるのは「我々が憲政の根底とするのは」、主権がどこにあるのか(天皇主権なのか人民主権なのか)に関係なく「国体の君主制か共和制かに関係なく」、身分で分けずに一般民衆を重んじる「一般民衆を重んじ、貴賤上下の区別をしない」ことである、としている。
- (11) 資料Ⅱから、長野県は養蚕がさかんで、県の農業収入の約80%が養蚕によるものであったこと、日本産の生糸の大部分がアメリカに輸出されていたことがわかる。
資料Ⅰから、日本の生糸の大きな輸出先であったアメリカが、1929年の世界恐慌ののち、関税の税率を大幅に引き上げたことが読み取れる。アメリカ国内で関税が引き上げられたことから、日本産の生糸がアメリカ国内で売れなくなり、このために生糸の価格が暴落した。
資料Ⅲには、生糸の価格の暴落と、養蚕農家がその影響を受け苦しくなったことが描かれている。
- (12) 国際連合の常任理事国には拒否権が与えられており、常任理事国が1か国でも拒否権を行使すれば、その審議は不成立になる。
1952年の時点では、世界情勢は冷戦の真っただ中で、日本は、社会主義勢力の中心であるソ連と国交を回復し

ていなかった。このため、ソ連が日本の国際連合加盟に反対した。1956年に、日ソ共同宣言(資料Ⅱ)を調印しソ連と国交を回復したことで、日本はソ連の支持を得て、国際連合に加盟することができた。

問3 公民の問題(p.86~p.87)

解答

- (1) 国民の制定した法が、政府を制限している。
- (2) 立法権、行政権、司法権に分けて権力の集中を防ぎ、国民の人権を守るため。
- (3) 18歳以上20歳未満の人は、主にテレビやインターネットから情報を得ており、景気対策や子育て・教育など近い将来の自分たちに関する課題を重視して投票している。
- (4) 表現の自由を主張したが、他者のプライバシーの権利(プライバシーを守る権利)を侵害している
- (5) 記号 B
理由 簡易裁判所の判決に不服があるとき、高等裁判所に控訴しているから。
- (6) 税率が一定のため、所得の低い人ほど税負担の割合が高くなる。
- (7) 農産物は毎日の生活に必要なものであるため、価格が上下しても需要量に大きな変化はないが、工業製品は必需品ではないため、価格の上下に需要量が大きく影響を受けるから。
- (8) 加盟国間で、一人あたりのGDPに大きな差があること。
- (9) 途上国に対して港湾や空港、発電所など社会インフラの整備を支援することで、その国が自立して発展することを促し、やがては日本と、貿易増進をはじめとする経済的な結びつきが活発になることを期待している。

解説

- (1) 人の支配では、君主の政治権力を制限するものがないが、法の支配では、国民の制定した法が政府の政治権力を制限している点で違いがある。
- (2) 三権分立は、国の権力を分割して権力の集中を防ぎ、相互に監視し合うことで、国民の人権や自由を保護するしくみである。
日本では、立法権を国会、行政権を内閣、司法権を裁判所が担当している。
- (3) 2015年に公職選挙法が改正され、選挙権を与えられる年齢が20歳から18歳に引き下げられた。2016年7月に行われた参議院議員選挙は、選挙権年齢が引き下げられて以来初めての国政選挙となった。
これより、資料Ⅰ、資料Ⅱから、18~19歳の投票に関する考え方について読み取る。
- (4) K氏が小説を発表することは、自由権の精神の自由(精神活動の自由)の中の、表現の自由にあたる。しかし、小説の内容が、モデルとなったL氏のプライバシーの権利(プライバシーを守る権利)を侵害していることが問題となっている。プライバシーの権利(プライバシーを守る権利)は、近年主張されるようになった新しい人権の一つである。
個人の人権は、最大の尊重を必要とされるが、他者の人権を侵害する場合や、公共の福祉に反する場合には制限されることがある。
- (5) 三審制のしくみにおいて、第一審の判決に不服がある場合に上級の裁判所に第二審を求めることを控訴、第二審の判決に不服がある場合に上級の裁判所に第三審を求

めることを上告という。刑事裁判では、上告を受けて第三審を行うのは最高裁判所である。よって、控訴を受けて第二審を行うのは高等裁判所になる。

- (6) 所得税や相続税は、累進課税のしくみがとり入れられている。所得の低い人ほど税率が低くなるため、所得に占める税負担の割合が低くなり、税の公平性が保たれている。

消費税は税率が一定のため、所得に関係なく、同じ金額の商品を購入した場合には同じ金額の税金を負担しなければならない。このため、所得の低い人ほど、所得に占める税負担の割合が高くなる(逆進性)。

- (7) 農産物は必需品であるため、価格が高くても低くても、購入する人が一定数いる。つまり、農産物を買おうとする量(需要量)はあまり変わらない。一方、工業製品は必需品ではないものが多く、長期間使用できる(保存しやすい)ため、価格が高いときはあまり購入されず、価格が低いときに購入されることが多い。

これより、農産物は、価格が変化しても需要量はあまり変化しないことから、需要曲線の傾きは急になる。反対に、工業製品は、価格によって需要量が大きく変化するため、需要曲線の傾きはゆるやかになる。

- (8) GDPは国内総生産の略称で、GDPや一人あたりのGDPは、国の経済活動をはかる指標となる。表では、各国の一人あたりのGDPは、その国のGDPを人口で割った値となる。例えば、ASEANでは、一人あたりのGDPが、シンガポールは約63607ドル、ブルネイは約30682ドル、ミャンマーは約1412ドル、カンボジアは約1621ドルで、シンガポールとミャンマーの間には約45倍の差が見られる。このような加盟国間での経済格差はEUやUSMCAでも見られ、こうした状況が、加盟国同士で共通の政策や経済対策をとることを難しくしている。
- (9) 資料Ⅰから、日本はODAによる支援を通じて、支援相手国が、自助努力によって、経済の自立や自立的な発展を実現することをめざしていることがわかる。資料Ⅱから、日本は、東南アジアの国々に対して、港湾や空港、道路、鉄道などの交通網や発電所など、インフラ整備を支援していることがわかる。これらの社会インフラを利用して、支援相手国で人や物の行き来が活発になれば、その国全体の発展も実現し、日本にとっても貿易が拡大するなど大きな利益が見込める。このことは、資料Ⅰ中の「対話・協働重視の開発協力」にも相当する。資料ⅢのASEAN(東南アジア諸国連合)は、資料Ⅱで挙げた、日本が支援している国々が加盟している組織である。ASEANとの貿易額は年々増加していることが読み取れ、日本がODAによって支援している国々との貿易が拡大し、経済的な結びつきが強くなっていることがわかる。